



THE WORLD GAMES
WROCLAW 2017

THE WORLD GAMES

第10回 ワールドゲームズ・ヴロツワフ大会

報告書

もうひとつのスポーツの祭典、もうひとつの熱戦の舞台。



期間
開催地

2017.7.20 - 30
ヴロツワフ市 | ポーランド共和国

特定非営利活動法人 日本ワールドゲームズ協会





ご挨拶



特定非営利活動法人
日本ワールドゲームズ協会

会長 **小野 清子**

JAPAN WORLD GAMES
ASSOCIATION
PRESIDENT KIYOKO ONO

おの・きよこ

1936年生まれ。秋田県出身。東京教育大学（現筑波大学）卒。1960年ローマ、1964年東京の2大会連続でオリンピックに出場、東京オリンピックでは体操女子団体で銅メダルを獲得。1986年参議院議員に初当選（3期）、環境政務次官、国家公安委員長、参議院予算委員長など政治家として活躍。日本音楽著作権協会や日本スポーツ振興センターの理事長等も歴任し、現在も日本のスポーツの発展に向け、日本オリンピック委員会名誉委員をはじめ、多くのスポーツ・体育・文化関連組織の要職に就く。2008年旭日大綬章受章。公益財団法人笹川スポーツ財団前理事長（～2017年6月）

第10回を迎えましたワールドゲームズ大会は、2017年7月20日から30日までポーランド共和国・ヴロツワフ市で開催されました。今大会は、公式27競技、公開4競技に世界102の国や地域から3,214名のトップアスリートが参加、11日間にわたり熱戦が繰り広げられました。日本からは18競技に98名の選手が参加し、10競技で22個のメダル（金9銀6銅7）を獲得しました。メダル数はロシアの63個が最多で、日本はフランス・ドイツ・イタリア・ウクライナ・ベルギーに次いで世界第7位（アメリカ同数）でした。日本におけるメダル獲得数は、前回大会（2013年・コロンビア共和国カリ市）の10個（金5・銀1・銅4 ※公式競技のみの数）を大きく上回り、2001年秋田での第6回大会の25個（金9・銀6・銅10）に次いで、10大会中、2番目となるメダル獲得数となりました。ここに、参加されましたすべての選手をはじめ、参加団体関係者の方々のご健闘、ご活躍、ご尽力に心から敬意を表します。素晴らしい感動をありがとうございました。

また、日本選手団の参加に伴い、外務省やスポーツ庁をはじめ、在日ポーランド大使館、現地日本大使館、日本オリンピック委員会、日本アンチ・ドーピング機構、日本スポーツ振興センターなど多くの関係組織より多大なるご支援ご協力を賜り、心より御礼を申し上げます。スポーツ庁の鈴木大地長官におかれましては、公務ご多忙の中、現地に応援に駆けつけていただき、選手も大変勇気づけられ、メダル量産の原動力となりました。誠にありがとうございました。

開催都市のヴロツワフ市は、チェコとドイツの国境に近いポーランド共和国の南西部に位置する第4の都市で、色鮮やかな歴史的建造物が立ち並ぶ美しいまちです。千年以上の歴史を誇り、様々な国と文化の影響を受けたことでユニークな景観が数多く残されています。2012年にはUEFA欧州選手権（サッカー）を開催し、2016年には欧州連合により「欧州文化首都」にも指定され、このたびワールドゲームズを見事、成功に導かれました。





THE WORLD GAMES WROCLAW 2017

contents

1981年アメリカ・サンタクララの第1回大会から10回目の開催を迎えましたが、主催団体である国際ワールドゲームズ協会 (IWGA:International World Games Association)、後援団体の国際オリンピック委員会 (IOC:International Olympic Committee)をはじめ、開催都市のヴロツワフ市の組織委員会や政府等のご支援ご尽力により、今回も人々の記憶に残る、大変素晴らしい大会となりました。

観戦チケットは16万枚販売され、各会場では連日国際色豊かな大勢の観客で埋め尽くされました。今大会では初の試みとしてインターネット動画サイト「Olympic Channel」を通じて、広く世界に大会の様子がライブ配信されました。また、大会成功の陰にはホスピタリティ溢れるボランティアの存在が大きく、今大会でも重要な役割を果たされました。

スポーツを通じて、人と人、国と国との交流が始まり、深まることは大変意義深く、喜ばしいことです。今回のワールドゲームズもこれらを象徴する素晴らしい大会となりました。今後もワールドゲームズが、スポーツの持つ魅力や意義・価値といったものを広く発信し、スポーツを通じた世界平和の一翼を担う存在であり続けることを願いますとともに、当協会もワールドゲームズの理念を追い求め、関係の皆様方とともに、日本国内のワールドゲームズの普及・振興に微力ながら努めて参りたいと存じます。

今回のワールドゲームズは2020年の東京オリンピック・パラリンピックの翌年、2021年にアメリカ・バーミングハム市で開催される予定です。1981年の第1回大会以来、40年ぶりのアメリカ開催となります。バーミングハム市は人口20万人のアラバマ州最大の都市ですが、国際競技の開催経験はなく、ワールドゲームズが初の取り組みとなり、4年後の開催に向けてすでに準備が進んでいるようです。今後ともワールドゲームズの諸活動に対し、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

小野清子

ワールドゲームズとは	4
概要・IWGA加盟団体競技	
公式・公開競技の変遷	
ヴロツワフ大会 開催日程	
各国参加選手数・メダル獲得数一覧	

公式競技	8
エアースポーツ/アーチェリー/ビリヤードスポーツ	
ブルースポーツ/ボウリング/カヌー(ボロ)/ダンススポーツ	
フィストボール/フロアボール/フライングディスク	
体操(アクロバット体操/エアロビック/新体操)	
体操(トランポリン/タンブリング)/ハンドボール(ビーチ)/柔術	
空手/コーフボール/ラクロス	
ライフセービング/ムエタイ/オリエンテーリング	
パワーリフティング/ローラースポーツ/スポーツクライミング/スカッシュ	
相撲/綱引/水中スポーツ(フィンスイミング)/水上スキー・ウエイクボード	

公開競技	17
アメリカンフットボール/インドアローイング/キックボクシング/スピードウェイ	

大会ハイライト	18
----------------	-----------

日本代表選手一覧	20
-----------------	-----------

メダリストインタビュー	26
空手 清水希容選手	
スポーツクライミング 緒方良行選手	

Report	28
スポーツ庁 鈴木大地長官	
記者発表&日本代表選手壮行会	
スポーツカイロプラクター 伊佐和敏さん	
アスリートビューティーアドバイザー 花田真寿美さん	

大会総括	30
-------------	-----------

協会概要	31
-------------	-----------

ワールドゲームズとは

ワールドゲームズとは「第2のオリンピック」とも言われる国際総合競技大会です。国際ワールドゲームズ協会 (IWGA: International World Games Association) 主催、国際オリンピック委員会 (IOC) 後援で4年に一度、夏季オリンピック・パラリンピック競技大会の翌年に開催されます。IWGA加盟競技の中で、オリンピックに採用されていない競技種目であることが条件となります。過去、ワールドゲームズ競技種目の中から8競技(バドミントン、野球、ソフトボール、テコンドー、ビーチバレーボール、女子ウエイトリフティング、トライアスロン、7人制ラグビー)がオリンピックに採用されました。2015年6月には、2020年の東京オリンピックの追加種目の第一次選考に26競技が応募しましたが、このうち21競技がIWGA加盟競技でした。第二次選考後、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会はIOCに追加候補5競技(野球・ソフトボール、空手、ローラースポーツ(スケートボー

ド)、スポーツクライミング、サーフィン)を提出しましたが、すべてIWGA加盟競技であり、2016年8月のIOC総会(リオデジャネイロ)で正式に採択が決定されました。このようにワールドゲームズはオリンピックと密接に関係しています。

4年毎に開催されるワールドゲームズ大会は、世界最高レベルという基準で各競技の国際スポーツ連盟(IF)によって選ばれた選手によって、約10日間にわたって熱戦が繰り広げられます。大会の特徴は、巨額の費用を要するオリンピックとは異なり、既存の施設で開催できる競技種目で実施するため、少ない費用で開催できることです。表彰式では金、銀、銅のメダル授与や、国旗掲揚は行われますが、行き過ぎた国威発揚や勝利偏重主義は抑えられていることも特徴のひとつです。また、大会期間中、大会参加者が一堂に集える「ワールドゲームズ・パーティ」を開催し、参加者の交流を深める機会もつくっています。

IWGA加盟団体競技 (アルファベット順)

	合気道		体操		ラケットボール
	エアースポーツ		ハンドボール		ローラースポーツ
	アーチェリー		ホッケー		ラグビー
	ビリヤードスポーツ		柔術		ソフトボール
	ボディビルディング		空手		スポーツクライミング
	ブルスポーツ		キックボクシング		スカッシュ
	ボウリング		コーフボール		相撲
	カヌー		ラクロス		サーフィン
	キャスティング		ライフセービング		綱引
	ダンススポーツ		ムエタイ		水中スポーツ
	フィストボール		ネットボール		水上スキー・ウエイクボード
	フロアボール		オリエンテーリング		
	フライングディスク		パワーリフティング		

2017年11月現在 / 37競技

公式・公開競技の変遷

*体操競技は種目名で記載

開催年	1981 第1回	1985 第2回	1989 第3回	1993 第4回	1997 第5回	2001 第6回	2005 第7回	2009 第8回	2013 第9回	2017 第10回	2021 第11回
開催地	アメリカ・ サンタクララ 	イギリス・ ロンドン 	旧西ドイツ・ カールスルーエ 	オランダ・ ハーグ 	フィンランド・ ラハティ 	日本・秋田 	ドイツ・ デュイスブルク 	チャイニーズ タイペイ・高雄 	コロンビア・ カリ 	ポーランド・ ヴロツワフ 	アメリカ・ バーミングハム
参加選手数	1,265名	1,550名	1,965名	2,275名	1,725名	2,193名	3,205名	2,908名	2,929名	3,214名	—
参加国・地域数	9	57	49	49	75	93	93	84	98	102	—
公式競技	15競技	20競技	17競技	21競技	22競技	22競技	26競技	26競技	26競技	27競技	—
バドミントン	●										
野球	●										
ビーチバレーボール					●						
テコンドー	●	●	●	●							
トライアスロン				●							
ラグビー						●	●	●	●		
ビリヤードスポーツ						●	●	●	●	●	
ボディビルディング	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ブルスポーツ		●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ボウリング	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
キャスティング	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ダンススポーツ					●	●	●	●	●	●	
アーチェリー(フィールドアーチェリー)		●	●	●	●	●	●	●	●	●	
水中スポーツ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ファストボール		●	●	●	●	●	●	●	●	●	
フライングディスク					●	●	●	●	●	●	
エアロビック*					●	●	●	●	●	●	
新体操種目別*						●	●	●	●	●	
柔術					●	●	●	●	●	●	
空手	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
コーフボール		●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ライフセービング		●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ネットボール		●	●	●	●						
オリエンテーリング						●	●	●	●	●	
エアスポーツ					●	●	●	●	●	●	
パワーリフティング	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ラケットボール	●	●	●	●				●	●	●	
ローラースポーツ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ソフトボール	●	●									
サンボ		●		●							
スポーツアクロ体操*				●		●	●	●	●	●	
スカッシュ					●		●	●	●	●	
トランポリン*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
綱引	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
タンピング*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
水上スキー・ウエイクボード	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
ウエイトリフティング女子					●						
カヌー(カヌーボロ)							●	●	●	●	
スポーツクライミング							●	●	●	●	
相撲							●	●	●	●	
ハンドボール(ビーチハンドボール)									●	●	
フロアボール										●	
ラクロス										●	
ムエタイ										●	
公開競技	なし	なし	3競技	4競技	5競技	5競技	6競技	5競技	4競技	4競技	—
合気道			●	●	●	●	●				
武術								●	●		
バレーボール			●								
綱引(女子)				●		●					
水上スキー(ベアフット)				●							
馬術(ポルティン)				●							
ベサバロ					●						
フロアボール					●						
ミリタリーペンタスロン					●						
ボールリヨネーズ					●						
ハンドボール(ビーチハンドボール)						●	●	●			
相撲						●					
ゲートボール						●					
アメリカンフットボール			●				●			●	
ドラゴンボート							●	●			
インドアホッケー							●				
モーターサイクリング							●				
ソフトボール								●	●		
チェックボール								●			
カヌー(カヌーマラソン)									●		
デュアスロン									●		
インドアローイング										●	
キックボクシング										●	
スピードウェイ										●	

ワールドゲームズとは

ヴロツワフ大会 開催日程



開催都市 **ポーランド共和国 ヴロツワフ市**
 開催期間 **2017.7.20 - 30**

開催競技	7	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
ワールドゲームズパーティー								●				
開会式／閉会式	●											●
公式競技 (27競技)												
エアースポーツ		●	●	●								
アーチェリー(フィールド) ●				●	●	●	●	●	●	●	●	●
ビリヤードスポーツ キャロム ●							●	●	●	●	●	●
ビリヤードスポーツ プール(ポケット) ●							●	●	●	●	●	●
ビリヤードスポーツ スヌーカー							●	●	●	●	●	●
ブルースポーツ			●	●	●							
ボウリング ●		●	●	●	●							
カヌー(ボロ)										●	●	●
ダンススポーツ スタンダード ●										●	●	
ダンススポーツ ラテン ●										●	●	
ダンススポーツ ロックンロール										●	●	
ダンススポーツ サルサ										●	●	
フィストボール			●	●	●	●						
フロアボール									●	●	●	●
フライングディスク ●		●	●	●								
体操 アクロバット体操					●	●	●					
体操 エアロビック ●		●	●									
体操 新体操 ●		●	●									
体操 トランポリン ●					●	●	●					
体操 タンブリング					●	●	●					
ハンドボール(ビーチ)							●	●	●	●		

開催競技	7	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
柔術 ●										●	●	
空手 ●							●	●				
コーフボール			●	●	●	●	●					
ラクロス ●									●	●	●	●
ライフセービング ●		●	●									
ムエタイ										●	●	●
オリエンテーリング ●							●	●	●			
パワーリフティング ●						●	●	●				
ローラースポーツ アーティステック					●	●						
ローラースポーツ インラインホッケー							●	●	●	●	●	●
ローラースポーツ スピード			●	●	●	●	●					
スポーツクライミング ●		●	●	●								
スカッシュ ●							●	●	●	●		
相撲 ●				●	●							
綱引											●	●
水中スポーツ (フィンスイミング) ●		●	●									
水上スキー・ウエイクボード ●							●	●	●			
公開競技 (4競技)												
アメリカンフットボール				●	●							
インドアローイング ●									●	●		
キックボクシング									●	●		
スピードウェイ												●

● 開催日 ● 日本人選手参加競技

about Wroclaw

首都ワルシャワから南西へ約300km(ドイツとの国境は西へ約150km、チェコとの国境は南へ約80km) 日本からの距離は約8,900km(フランクフルト、ミュンヘン経由)

- 人口: 約64万人
- 言語: ポーランド語
- 日本との時差: -7時間
- 通貨: ポーランド・ズロチ (PLN)



各国参加選手数・メダル獲得数一覧

102の国と地域から、3,214人の選手が大会に参加。そのうち、63の国と地域がメダルを獲得しました。

順位	国名	参加選手	金	銀	銅	メダル計
1	ロシア	133	28	21	14	63
2	フランス	184	14	14	15	43
3	ドイツ	189	18	10	14	42
3	イタリア	121	16	13	13	42
5	ウクライナ	77	10	7	8	25
6	ベルギー	65	7	9	8	24
7	日本	96	9	6	7	22
7	アメリカ	190	6	11	5	22
9	コロンビア	50	9	10	2	21
10	中国	90	8	7	5	20
10	ポーランド	294	5	6	9	20
12	オーストラリア	118	3	5	6	14
12	ハンガリー	57	6	4	4	14
12	スペイン	72	3	4	7	14
12	スイス	89	3	8	3	14
16	韓国	42	3	6	3	12
17	ベラルーシ	22	4	2	5	11
17	イギリス	105	3	4	4	11
17	イラン	19	2	8	1	11
17	スウェーデン	53	4	2	5	11
21	タイ	22	3	5	2	10
22	ブラジル	72	4	2	2	8
22	台北	67	1	4	3	8
24	チェコ	65	2	1	4	7
25	アルゼンチン	43	3	1	2	6
25	カナダ	78	1	3	2	6
25	デンマーク	30	6			6
25	イスラエル	18		1	5	6
25	オランダ	81	2	2	2	6
25	スロベニア	16		4	2	6
25	ベネズエラ	19		3	3	6
32	オーストリア	45	2	1	2	5
32	メキシコ	21	1	1	3	5
34	チリ	26	1	1	2	4
34	トルコ	13	1		3	4
36	クロアチア	23		2	1	3
36	エジプト	25		2	1	3
36	フィンランド	32		1	2	3
36	カザフスタン	16	1		2	3
36	モンゴル	16	1	1	1	3
36	ポルトガル	21			3	3
36	アラブ首長国連邦	6	1	1	1	3
43	アゼルバイジャン	6	1	1		2
43	香港	9		1	1	2
43	モロッコ	15	1		1	2
43	ニュージーランド	38			2	2
43	ベルー	9	1		1	2
43	ルーマニア	20		1	1	2
49	アルジェリア	6	1			1
49	ドミニカ	3			1	1
49	ギリシア	12		1		1
49	ヨルダン	5		1		1

順位	国名	参加選手	金	銀	銅	メダル計
49	リトアニア	4			1	1
49	マレーシア	8			1	1
49	モンテネグロ	6			1	1
49	フィリピン	4	1			1
49	カタール	10			1	1
49	サンマリノ	2		1		1
49	セルビア	8	1			1
49	スロバキア	16			1	1
49	南アフリカ	26			1	1
49	ベトナム	6	1			1
49	モルドバ	8	1			1
—	ボスニアヘルツェゴビナ	2				0
—	ブルガリア	8				0
—	コスタリカ	1				0
—	コートジボワール	1				0
—	キプロス	1				0
—	エクアドル	13				0
—	エルサルバドル	1				0
—	エストニア	7				0
—	エチオピア	1				0
—	フィジー	1				0
—	ジョージア	4				0
—	グアテマラ	1				0
—	アイスランド	1				0
—	インド	4				0
—	インドネシア	1				0
—	イラク	1				0
—	アイルランド	23				0
—	キルギスタン	4				0
—	ラトビア	8				0
—	レバノン	2				0
—	マダガスカル	4				0
—	マルタ	4				0
—	モーリシャス	3				0
—	モナコ	2				0
—	ナミビア	2				0
—	ニカラグア	1				0
—	ノルウェー	26				0
—	パキスタン	3				0
—	プエルトリコ	2				0
—	サウジアラビア	1				0
—	セネガル	3				0
—	シンガポール	4				0
—	タジキスタン	1				0
—	チュニジア	14				0
—	トルクメニスタン	1				0
—	ウガンダ	2				0
—	ウルグアイ	12				0
—	ウズベキスタン	1				0
—	ヴァージン諸島	1				0
合計		3,214	199	199	199	597



The World Games 2017 WROCLAW

エアースポーツ
アーチェリー
ビリヤードスポーツ
ブルスポーツ
ボウリング
カヌー(ボロ)
ダンススポーツ

フィストボール
フロアボール
フライングディスク
体操
ハンドボール(ビーチ)
柔術
空手

公式競技

27

コーフボール
ラクロス
ライフセービング
ムエタイ
オリエンテーリング
パワーリフティング
ローラースポーツ

スポーツクライミング
スカッシュ
相撲
綱引
水中スポーツ(フィンスイミング)
水上スキー・ウエイクボード

国際ワールドゲームズ協会 (IWGA) の加盟競技の中から実施される公式競技。

第10回大会では27競技が実施され、日本からは17競技に97名の選手が参加、各選手の目覚ましい活躍により、前回大会を大きく上回る22個のメダルを獲得しました。



エアースポーツ

AIR SPORTS

参加国(22) 参加選手(64)

AUS AUT BRA CAN CZE DEN ESP FRA GBR GER HUN ITA NOR NZL POL RSA RUS SWE THA UAE UKR USA

航空機からパラシュートを背負い降下中の技などを競い合うスポーツ。上空約1,000mから降下して着地点の正確性を競う「アキュラシーランディング」。直径3mの目標物中心にある30cmのディスク真ん中の500円硬貨程のデッドセンターを目指します。その他、キャンピーパイロティングやフリースタイル、フォーメーションなどがあります。



アーチェリー

ARCHERY

参加国(34) 参加選手(96)

AUS AUT BEL COL CRO CZE DEN EGY ESA ESP FIN FRA GBR GER HUN IND IRI JPN KOR MAS MEX NAM NED PHI POL PUR RSA RUS SLO SRB SWE TPE USA

トレーニングのために切り株などを獲物に見立てて射て回ったことが原型といわれ、後にスポーツ化されました。弓の種類により「ベアボウ」「リカーブ」「コンパウンド」の3部門に分けられ、24のコースを3射ずつ行射し、ゴルフのようにラウンドして、最短5mから最長60mの間で設置された的を射て、的に当たった矢の得点を競います。



参加選手

- M** 大貫 渉 (23) おおぬき わたる 神奈川県出身
- W** 丸山 美幸 (38) まるやま みゆき 群馬県出身

- 種目 | リカーブ 3位 **銅**
- 種目 | ベアボウ 9位



ビリヤードスポーツ

BILLIARD SPORTS

参加国(34) 参加選手(64)

AUS AUT BEL CHI CHN COL CRC EGY ESP EST GBR GER GRE HKG IND IRI IRL
ITA JPN KOR MAR NCA NED NZL PAK PHI POL RSA RUS SUI TPE TUR USA VIE

球を投げたり打ったりするスポーツは数多くありますが、キュースティックを使って球を「撞く」のはビリヤードだけです。そのため現在ではキュー・スポーツとも呼ばれており、幅広い年齢層に親しまれています。競技は大きく分けて「キャロム」「プール(ポケット)」「スヌーカー」の3種類があります。



参加選手

- M** 梅田 竜二 (48) うめだ りゅうじ 東京都出身
- M** 大井 直幸 (34) おおい なおゆき 東京都出身
- W** 河原 千尋 (32) かわはら ちひろ 大阪府出身

- 種目 | スリークッション ベスト16
- 種目 | プール 3位 **銅**
- 種目 | プール 準決勝敗退 (ベスト8)

ボウリング

BOULES SPORTS

参加国(27) 参加選手(94)



ワールドゲームズでは「スポールブール」と「ペタンク」が実施されます。スポールブール種目としては、コート内を走りながら、自分のボールを目標球に投げ当てるティールゲームが行われます。ペタンクは平坦なコートで目標球に金属球を近づけあう球技で、ときには邪魔な相手球を弾き出して得点を競います。



ボウリング

BOWLING

参加国(19) 参加選手(64)



ワールドゲームズでは日本でもなじみの深い「テンピンボウリング」が行われます。10本のピンを目標球を転がし、倒れたピンの本数でスコアを競うスポーツです。1ゲーム10フレームで構成され、1フレームに2回まで投げることができます。種目は男女毎にシングルス・ダブルスが行われます。



参加選手

M	新畑 雄飛 (23) しんばた ゆうひ 東京都出身	種目	シングルス	予選19位
M	和田 翔吾 (27) わだ しょうご 福岡県出身	種目	シングルス	ベスト16
W	石本 美来 (20) いしもと みらい 広島県出身	種目	シングルス	ベスト16
W	竹川 ひかる (26) たけかわ ひかる 岡山県出身	種目	シングルス	予選17位

カヌー(ポロ)

CANOE POLO

参加国(9) 参加選手(110)



1人用カヌーに乗って行うチーム制の球技です。水球やバスケットボールに似た水上のスポーツで、オールを巧みに使い、激しくボールを奪い合うことから水上の格闘技とよばれています。1チーム5人で構成され、36m×24mのコートで得点を競います。水上2mの高さにゴールが設置され、ゴールキーパーは手にしているパドルでゴールを守ります。



参加国(38) 参加選手(140)



ダンススポーツ

DANCESPORT

現在、映画やテレビなどを通して、愛好者が急増中のスポーツです。高度の技術と肉体的鍛錬、長期の指導が要求されます。種目は「スタンダード(ワルツ、タンゴ、ヴェネーヅワルツ、スローフォクストロット、クイックステップ)」「ラテン(サンバ、チャチャチャ、ルンバ、パソドブレ、ジャイブ)」「サルサ」が行われます。



参加選手

M	山本 武志 (31) やまもと たけし 石川県出身	種目	スタンダード	19位
W	木嶋 友美 (31) きじま ともみ 東京都出身	種目	スタンダード	19位
M	藤井 創太 (18) ふじい そうた 福岡県出身	種目	ラテン	20位
W	吉川 あみ (18) よしかわ あみ 東京都出身	種目	ラテン	20位



フィストボール

FISTBALL

参加国(6) 参加選手(58)



バレーボールの前身といわれており、5人対5人で芝生のコート(50m×20m)で高さ2mのストリング(ひも)をはさみ、得点を競います。相手が3打以内で返球できない場合は得点1となり、1セット20点、3セットマッチで2セット取れば勝ちです。ボールを片手で打つこと、1バウンドまではOKというところが特徴です。



フロアボール

FLOORBALL

参加国(6) 参加選手(84)



ボードで囲まれた40m×20mの室内リンクで行われるチーム制の球技です。1チーム、1人のゴールキーパーと5人のフィールド・プレーヤーで構成され、穴のあいたプラスチック製のボールを相手チームのゴールに入れて得点を競います。試合時間は1ピリオド20分間で3ピリオド行われます。2014年からワールドゲームズの競技種目となりました。



フライングディスク

FLYING DISC

参加国(6) 参加選手(84)



プラスチック製ディスクを使う10種目の総称です。IOC・IPC承認競技で、2001年の秋田大会以来7人制ディスク版アメリカンフットボールともいえる「アルティメット」(中学校学習指導要領掲載種目)が公式種目になっています。1チーム7人制でスピード、持久力、コントロール技術などフライングディスクのあらゆる要素が含まれています。



参加選手

M	川瀬 絢士郎 (28) かわせ けんじろう 兵庫県出身	種目	ミックス・アルティメット	5位
M	KUNIEDA Andrew Tatsunari (30) くにえだ あんどりゅー たつなり California,US出身	種目	ミックス・アルティメット	5位
M	玄島 岳 (27) げんしま たく 宮城県出身	種目	ミックス・アルティメット	5位
M	古森 貴陽 (28) こもり たかはる 埼玉県出身	種目	ミックス・アルティメット	5位
M	志村 優太 (35) しむら ゆうた 神奈川県出身	種目	ミックス・アルティメット	5位
M	本名 拓 (25) ほんな たく 千葉県出身	種目	ミックス・アルティメット	5位
M	山口 崇行 (26) やまぐち たかゆき 神奈川県出身	種目	ミックス・アルティメット	5位
W	稲村 知子 (27) いなむら ともこ 大阪府出身	種目	ミックス・アルティメット	5位
W	井上 紗央里 (25) いのうえ さおり 埼玉県出身	種目	ミックス・アルティメット	5位
W	小林 可奈 (25) こばやし かな 東京都出身	種目	ミックス・アルティメット	5位
W	佐藤 由布子 (28) さとう ゆうこ 東京都出身	種目	ミックス・アルティメット	5位
W	嶋田 理沙 (24) しまだり さ 埼玉県出身	種目	ミックス・アルティメット	5位
W	田村 友絵 (27) たむら ともえ 東京都出身	種目	ミックス・アルティメット	5位
W	藤岡 あゆみ (38) ふじおか あゆみ 兵庫県出身	種目	ミックス・アルティメット	5位



体操 アクロバット体操

ACROBATIC GYMNASTICS

参加国(13) 参加選手(78)

AUS BEL BLR CHN GBR GER ISR NED POL POR RUS UKR USA

バレエやダンスのように繊細で優雅な動きとその対極にある鋼のような力強さ、さらには極限にまで追求された柔軟性が組み合わせられ、人間技とは思えない演技が繰り広げられます。



体操 エアロビック

AEROBIC GYMNASTICS

参加国(13) 参加選手(116)

BRA CHN ESP FRA HUN ITA JPN KOR MGL ROU RSA RUS UKR

「エアロピクス」を起源とし、その後に派生したエアロビックダンスが競技として発展したスポーツです。演技は、リズムカルで連続的な動きの表現が重視されます。音楽と同調した軽快なステップや柔軟性や筋力を必要とする難度エレメントをバランスよく盛り込んでいなければなりません。



参加選手

M 金井 拓海 (20) かない たくみ 群馬県出身

種目 | トリオ 1位 **金** ミックスペア 4位

W 北爪 凜々 (19) きたづめ りり 群馬県出身

種目 | トリオ 1位 **金** ミックスペア 4位

M 斉藤 瑞己 (20) さいとう みずき 群馬県出身

種目 | トリオ 1位 **金**



体操 新体操

RHYTHMIC GYMNASTICS

参加国(19) 参加選手(24)

AUS AUT AZE BLR BUL ESP FRA GRE ISR ITA JPN KAZ KOR POL RSA RUS UKR USA UZB

さまざまな手具を用いて、モダンバレエの要素を取り入れた演技を行い、手具操作の巧みさと芸術性を競います。オリンピックでは「団体」と「個人・総合」が行われ、ワールドゲームズでは「個人・種目別」を実施します。



参加選手

W 皆川 夏穂 (19) みながわ かほ 千葉県出身

種目 | フープ6位、リボン5位、クラブ予選9位、ボール予選13位

デモンストレーション大会 開催報告 [スポーツチャンバラ]

日本ワールドゲームズ協会会員団体(準会員)である国際スポーツチャンバラ協会は、ワールドゲームズ期間中の7月21日、ヴロツワフ市内のヴォルノシチ広場に設けられたワールドゲームズプラザの特設会場にてデモンストレーション大会を開催しました。8ヵ国から27名が参加し、日本からは5名の選手が参加、男子は日本の藤岡秋介選手が、女子は地元ポーランドのシルヴィア・コシック選手がグラウンドチャンピオンに輝きました。ワールドゲームズの舞台でデモンストレーション大会を行えたことは、今後に向けて大きな励みとなりました。

国際スポーツチャンバラ協会 常任理事 岩尾光平





体操 トランポリン

TRAMPOLINE GYMNASTICS

参加国(20) 参加選手(59)

AUS AZE BRA BUL CAN CHN DEN ESP FRA GBR JPN NED NZL POL POR RSA RUS SWE UKR USA

トランポリンの弾性を利用して空中高く飛び上がり、宙返りと捻りを複合した技を10回連続して演技します。演技の美しさや、技の難度によって勝敗を競います。種目は2台のトランポリンを平行に置いて、2人で構成されたチームが同時に競技を行う「シンクロ」と「ダブルミニ」が行われます。



参加選手

M 石川 和 (18) いしかわ やまと 茨城県出身

種目 シンクロナイズド 3位 **銅**

M 中園 貴登 (18) なかぞの たかと 大阪府出身

種目 シンクロナイズド 3位 **銅**

W 佐竹 玲奈 (22) さたけ れいな 石川県出身

種目 シンクロナイズド 5位

W 土井畑 知里 (22) どいはた ちさと 大阪府出身

種目 シンクロナイズド 5位



体操 タンブリング

TUMBLING GYMNASTICS

参加国(13) 参加選手(20)

AZE BEL CAN CHN DEN FRA GBR KAZ POR RSA RUS UKR USA

長さ40m、幅1.5mのタンブリング専用台の上で、途中で中断したりステップを入れたりすることなく、連続して宙返りや側転、バック転などの多様な技をスピーディーかつリズムカルに行う競技です。



ハンドボール(ビーチ)

HANDBALL (BEACH)

参加国(13) 参加選手(162)

ARG AUS BRA CRO EGY ESP HUN NOR POL QAT TPE TUN URU

浜辺で行うハンドボールです。屋内でのハンドボールとはルールが異なり、砂浜ならではのプレーが魅力です。27m×12mの砂浜のコートで、前半・後半10分、4人対4人で得点を競うスポーツです。ヨーロッパ、中東、南米で盛んに行われており、日本国内では毎年3回の大会を開催しています。



柔術

JU-JITSU

参加国(41) 参加選手(129)

AUT BEL BUL CIV COL DEN ESP ETH FRA GER GRE HUN IRI ISR ITA JOR JPN KAZ KGZ LBN MAR MEX MGL MNE MRI NED PAK POL POR ROU RUS SLO SUI SWE THA TKM TUN UAE UKR URU VIE

日本古来の徒手としや短い武器を使った攻防の技法を中心としたスポーツです。柔術関連の流派は500ほどありますが、唯一競技として国際ルールに則り、試合を実施していくのがこの柔術競技で、突き、蹴り、関節技、投げ技などで勝敗を競う格闘系と、2人1組で決められた攻撃の形に対する防御の形を競う演武系があります。



参加選手

M 倉岡 ジョンカルロス 博 (36) くらおか じょんかるろす ひろし 愛知県出身

種目 62kg寝技 3位 **銅**

空手 KARATE

参加国(39) 参加選手(96)



としゅうけん
徒手空拳による格闘スタイルで、武器を用いないで戦闘技術を競い、あらゆる状況で腕や足を武器に変えることを要求される非常にハードなスポーツです。実際の相手とお互いに突きと蹴りを繰り返し、身体にあたる寸前で止める「組手」と、敵との攻防を想定した一連の動作を一人で行う「形」の2つの種目があります。



参加選手

M	荒賀 龍太郎 (26) あらが りゅうたろう 京都府出身	種目	-84kg組手 2位 銀
M	香川 幸允 (29) かがわ ひでよし 東京都出身	種目	+84kg組手 1位 金
M	喜友名 諒 (27) きゆうな りょう 沖縄県出身	種目	形 1位 金
W	植草 歩 (24) うえくさ あゆみ 千葉県出身	種目	+68kg組手 1位 金
W	清水 希容 (23) しみず きょう 大阪府出身	種目	形 1位 金
W	染谷 香予 (26) そめや かよ 茨城県出身	種目	-68kg組手 3位 銅
W	宮原 美穂 (20) みやはら みほ 福岡県出身	種目	-50kg組手 2位 銀

コーフボール KORFBALL

参加国(8) 参加選手(110)
AUS BEL CHN GBR GER NED POL TPE

「コーフ」とはオランダ語で「バスケット」を意味し、リング状のバスケットにボールを投げ入れて得点を競います。1チーム8人で男女混合、30分ハーフで行われます。シュートはどこからでも打つことができ、ドリブルが禁止のためパス中心のゲーム展開になります。また異性をマークしたり接触プレーも禁止されています。



ラクロス LACROSSE

参加国(6) 参加選手(90)
AUS CAN GBR JPN POL USA

棒の先に網のついたステック(クロス)を使い、テニスボール大のゴム製のボールを180cm四方のゴールまで運んで得点を競うチーム制の球技です。サッカーと同じくらいのグラウンドで行われ、女子は12人対12人、25分×2の前後半制、男子は10人対10人、20分×4のクォーター制で行われます。2014年よりワールドゲームズ競技種目となりました。



参加選手

W	青木 佑夏 (22) あおき ゆか 兵庫県出身	種目	5位
W	池田 玲衣 (21) いけだ れい 東京都出身	種目	5位
W	井上 果歩 (21) いのうえ かほ 茨城県出身	種目	5位
W	岩田 菜央美 (21) いわた なおみ 神奈川県出身	種目	5位
W	影山 乃依 (21) かげやま のえ 東京都出身	種目	5位
W	兼任 春奈 (23) かねとう はるな 兵庫県出身	種目	5位
W	小峯 祥子 (21) こみね さちこ 千葉県出身	種目	5位
W	佐藤 加奈子 (24) さとう かなこ 愛知県出身	種目	5位
W	関口 紗生 (20) せきぐち さき 神奈川県出身	種目	5位
W	高橋 未帆 (23) たかはし みほ 東京都出身	種目	5位
W	多賀 麻文 (23) たが まあや 神奈川県出身	種目	5位
W	竹村 薫 (22) たけむら かおる 神奈川県出身	種目	5位
W	竹本 萌優 (20) たけもと もゆ 大阪府出身	種目	5位
W	田中 希実 (21) たなかのぞみ 埼玉県出身	種目	5位
W	水戸 理恵 (27) みと りえ 東京都出身	種目	5位

ライフセービング

LIFE SAVING

参加国(10) 参加選手(98)


ライフセービング競技は事故が起きたときに必要な救助技術を競うスポーツで、自らの楽しみや体力向上などの目的ばかりでなく、実際の救助活動で「命を守る」という社会貢献的な目的のために行うスポーツです。競技種目はプール種目と、サーフ(海)種目があります。



参加選手	種目	順位
M 安藤 秀 (26) あんどう すぐる 大阪府出身	4×50m障害物リレー	1位 (金)
M 上野 凌 (21) うえの りょう 神奈川県出身	4×25mマネキンリレー 予選	5位
M 西山 俊 (28) にしやま しゅん 神奈川県出身	4×50m障害物リレー	1位 (金)
M 幡野 圭祐 (22) はたの けいすけ 東京都出身	4×50m障害物リレー	1位 (金)
M 平野 修也 (31) ひらの なおや 東京都出身	4×50m障害物リレー	1位 (金)
W 我妻 菜登 (27) あづま なみ 北海道出身	4×50mメドレーリレー	6位
W 栗真 千里 (26) くりま ちさと 東京都出身	4×25mマネキンリレー	5位
W 成澤 侑花 (20) なるさわ ゆうか 長野県出身	4×25mマネキンリレー	5位
W 三井 結里花 (25) みつい ゆりか 東京都出身	50mマネキンキャリー	5位
W 山本 裕紀子 (30) やまもと ゆきこ 奈良県出身	4×25mマネキンリレー	5位

ムエタイ

MUAYTHAI

参加国(37) 参加選手(87)


キックボクシングと似たタイ発祥のスポーツです。キックボクシングよりも蹴りが多いことが特徴です。3分1ラウンドで2分のインターバルを挟み通常5ラウンド行われ、相手をダウンさせ10カウントを奪うとノックアウト勝ち、最終ラウンドまで両者がノックアウトされなかった場合は判定で勝敗が決められます。2014年よりワールドゲームズ競技種目となりました。



オリエンテーリング

ORIENTEERING

参加国(26) 参加選手(83)


オリエンテーリングとはドイツ語で「方向を知る」と「走る」を意味する合成語です。地図とコンパスを用いて山野の各所に設定された各地点を通過してゴールまでの速さを競うスポーツで、地図を読む力と脚力が必要とされます。競技の公正を守るため、直前にコースが設置されます。山野を猛スピードで駆ける非常にハードなスポーツです。



参加選手	種目	順位
M 谷川 友太 (29) たにかわ ゆうた 愛知県出身	スプリント	39位
	ミドルディスタンス	37位



パワーリフティング

POWERLIFTING

参加国(23) 参加選手(80)



人間の力強さを培うためにさまざまな体力、筋力トレーニング方法が考案されましたが、その成果を試す手段として競技化されたものが始まりといわれています。基本的運動要素「立つ・押す・引く」を「スクワット」(脚力)、「ベンチプレス」(腕力)、「デッドリフト」(背筋力)という3つの動作におきかえて、その力の極限を競うスポーツです。



参加選手

- M 大谷 憲弘 (37) おおたに のりひろ 神奈川県出身
- M 佐藤 義宏 (34) さとう よしひろ 福島県出身
- W 濱田 展行 (47) はまだ のぶゆき 大阪府出身
- W 福島 友佳子 (47) ふくしま ゆかこ 兵庫県出身

- 種目 | ミドルウエイト 9位
- 種目 | ライトウエイト 8位
- 種目 | ミドルウエイト 8位
- 種目 | ライトウエイト 2位



ローラースポーツ

ROLLER SPORTS

ローラーホッケー

参加国(8) 参加選手(112)



アーティスティック

参加国(11) 参加選手(38)



スピード(ロード)

参加国(24) 参加選手(81)



スピード(トラック)

参加国(18) 参加選手(54)



ワールドゲームズでは、タイムやポイントを競う「スピード競技」、1チーム5人で得点を競う「ローラーインラインホッケー競技」と、自動車のように車輪を四隅に配置するクワッドといわれているローラーシューズを使用し、技の正確さや“美”を競う「アーティスティック」競技の3種目を実施します。



スポーツクライミング

SPORT CLIMBING

参加国(23) 参加選手(63)



ボードの凹凸を直接手足で保持して登るスポーツで、自身の身体能力を駆使して勝敗を競います。競技種目は、到達高度を競う「リード」、スピードを競う「スピード」、5m程度までの壁を使って複数のルートに登り、完了したプロブレム数を競う「ボルダリング」の3つがあり、これらの競技はすべて人工壁で行います。



写真提供:日本山岳・スポーツクライミング協会

参加選手

- M 緒方 良行 (19) おがた よしゆき 福岡県出身
- M 是永 敬一郎 (21) これなが けいいちろう 埼玉県出身
- M 檜崎 智亜 (21) ならさき ともあ 栃木県出身
- M 波田 悠貴 (20) はだ ゆうき 埼玉県出身
- M 藤井 快 (24) ふじい ことろ 静岡県出身
- W 尾上 彩 (21) おのえ あや 埼玉県出身
- W 野口 啓代 (28) のぐち あきよ 茨城県出身
- W 野中 生萌 (20) のなか みほう 東京都出身

- 種目 | ボルダリング 1位
- 種目 | リード 1位
- 種目 | ボルダリング 5位
- 種目 | リード 2位
- 種目 | ボルダリング 予選7位
- 種目 | ボルダリング 予選8位
- 種目 | ボルダリング 4位、リード 6位
- 種目 | ボルダリング 2位



スカッシュ

SQUASH

参加国(26) 参加選手(65)



四方を壁に囲まれたコートの中で、小さなゴムボールをワンバウンド以内で交互に打ち合う立体ビリヤードのようなラケット競技。前後左右の壁を使って瞬時にショットの角度や方向を変えることができるため、頭脳的でスピード感溢れるプレーが楽しめます。試合は1ゲーム11点先取。10-10になったら2点差まで継続。5ゲーム又は3ゲームマッチで行われます。



参加選手

- W 小林 海咲 (27) こばやし みさき 神奈川県出身

- 種目 | シングルス ベスト16



相撲

SUMO

参加国(17) 参加選手(93)



相撲は、土俵が上がってから立合いに至るまでに定められた礼法を遵守し、まわし以外は身に寸鉄も帯びず、正々堂々と戦うことを理念としています。狭い土俵の中で相手を投げたり、土俵の外へ出したりするなど勝負の判定が極めて単純で、しかも短時間で勝負が決する競技です。



参加選手

M	黒川 宏次朗 (22) くるかわ こうじろう 富山県出身	種目	
M	黒川 宗一郎 (25) くるかわ そういちろう 富山県出身	種目	重量級 3位
M	柴岡 功 (24) しばおか いさお 高知県出身	種目	
M	野口 清之 (26) のぐち きよゆき 長崎県出身	種目	
M	三輪 隼斗 (22) みわ はやと 石川県出身	種目	無差別級 3位
W	上田 幸佳 (25) うえた ゆか 鳥取県出身	種目	
W	太田 麻乃 (31) おおた あさの 静岡県出身	種目	中量級 2位
W	奥富 夕夏 (19) おくとみ ゆうか 千葉県出身	種目	軽量級 4位
W	水沼 ひかる (17) みずぬま ひかる 愛媛県出身	種目	中量級 4位



綱引

TUG OF WAR

参加国(10) 参加選手(172)



1チーム8人の体重別クラスで、アウトドアおよびインドアで行われます。時間制限はなく、2つのチームが1本の綱を両側から引き合せて、4mの距離を引ききった方が勝ちですが、体力よりもチームワークが重要で、ロープを通してさまざまな駆け引きが展開されます。古くは五穀豊穡を占う儀式としても行われていました。



水中スポーツ(フィンスイミング)

UNDERWATER SPORTS

参加国(19) 参加選手(76)



フィンスイミングは、イルカの尾ひれに似た1枚のフィン(モノ)を装着して、水中でドルフィンキックをしながら、身体全体をウェービングさせタイムを競います。「サーフィス(スノーケルの呼吸可、身体の一部が水面に出る)」の4種目と、「アプニア(50m潜水、無呼吸)」が行われます。



参加選手

M	平野 修也 (31) ひらの なおや 東京都出身	種目	ビーフィン100m 8位、50m 6位
W	森 琴音 (21) もり ことね 神奈川県出身	種目	アプニア 8位



水上スキー・ウエイクボード

WATERSKI & WAKEBOARD

参加国(35) 参加選手(80)



トーナメント競技としてジグザグに設定されたブイをクリアしていく「スラローム」、豪快に空中を飛ぶ「ジャンプ」、演技を競う「トリック」が行われます。そのほか、スキーをはかないでスラローム、トリック、ジャンプを行う「ベアフット」や、1枚板に横乗りする人気の「ウエイクボード」も実施されます。



参加選手

M	手塚 翔太 (23) てつか しょうた 静岡県出身	種目	ウエイクボード フリースタイル 1位
W	河原 乙翔 (14) かわはら 乙は 大阪府出身	種目	ウエイクボード フリースタイル 4位
W	廣澤 彩綾 (32) ひろさわ さあや 東京都出身	種目	水上スキー ジャンプ 8位
W	棟安 優月 (16) むねやす ゆづき 大阪府出身	種目	ウエイクボード フリースタイル 5位

The World Games 2017 WROCLAW

公開競技

4

アメリカンフットボール
インドアローイング
キックボクシング
スピードウェイ

国際ワールドゲームズ協会 (IWGA) と開催都市が決定する公開競技。
開催都市の国・地域で盛んなスポーツや伝統的なスポーツが実施されます。

第10回大会では4競技が実施され、日本からはインドアローイングの1競技に1名の選手が参加しました。



アメリカンフットボール

AMERICAN FOOTBALL

参加国(4) 参加選手(172)



サッカーとラグビーをもとに米国で考案された競技です。11名ずつの2チームが、攻撃(オフENS)と守備(ディフェンス)に分かれ、楕円形のボールを用いて陣取り合戦をしながら得点を競い合います。選手たちは激しくぶつかり合うため、防具を身に付けて対戦します。



インドアローイング

INDOOR ROWING

参加国(28) 参加選手(58)



マシンローイングとも呼ばれ、ボート競技選手が屋内でのトレーニングに使うエルゴメーターという器具を用いて行われる競技です。決められた距離をどれだけ早くゴールするかを競うもので、スピードとともに持久力も求められます。



参加選手 | 藤田 直子 (52) ふじた なおこ 神奈川県出身 | 種目 | インドアローイング 9位



キックボクシング

KICKBOXING

参加国(31) 参加選手(95)



ローキックや肘打ち、ボディ・顔面への膝蹴りが認められているボクシングです。試合時間は3分1ラウンドで1分のインターバルを挟み3~5ラウンド行われ、相手をダウンさせて10カウントを奪うとノックアウト勝ち、最終ラウンドまで両者がノックアウトされなかった場合は判定で勝敗が決められます。2014年よりワールドゲームズ競技種目となりました。



スピードウェイ

SPEEDWAY

参加国(7) 参加選手(21)



中欧、北欧で特に人気の高いモータースポーツです。4人のライダーがギアやブレーキのないオートバイに乗り、楕円のコースを反時計回りに4周走ります。コーナーでは車体を傾かせ、後輪を滑らせるテクニックを使って走行します。



大会ハイライト

ヴロツワフ大会での日本選手の健闘を
ハイライトでご紹介します。

日本選手金メダル第1号は 男子ボルダリング

7月20日、ヴロツワフ・スタジアムで行われた開会式に4万人の観衆が詰めかけ、大歓声のなか大会の幕が切って落とされた。

競技初日は、2020年東京オリンピックの追加競技となるスポーツクライミング(ボルダリング)とライフセービングが行われた。男子ボルダリングでは、緒方選手が初出場で見事金メダルを獲得し、今大会日本選手メダル第1号となった。続いて、女子ボルダリングでも、同じく初出場の野中選手が銀メダル。快調な滑り出しで日本選手団に勢いをつけた。ライフセービングの男子4×50m障害物リレーでは、世界記録を塗り替える1分36秒62をマークし、日本チームが頂点に輝いた。佐藤監督は、「ワールドゲームズ出場を目標に掲げ取り組んできましたが、初出場で金メダル、それも世界新記録での勝利に喜びでいっぱいです」と笑顔で振り返った。

続く競技2日目のエアロビック・トリオでは、金井選手、北爪選手、斉藤選手が、2位中国、3位フランスに大差をつけ優勝。相撲では、ワールドゲームズ3度目の出場となる太田選手が女子中量級で銀メダルを手にし、3大会連続でメダル獲得の快挙を成し遂げた。兄弟で出場した黒川宗一郎選手・宏次朗選手は、男子重量級の3位決定戦で対戦し、兄の宗一郎選手が銅メダルを勝ち取った。

競技3日目は、クライミングの男子リードで是永選手が金メダル、波田選手が銀メダルを獲得し、初日のボルダリングに続いて日本の競技レベルの高さを証明した。相撲は、前日に重量級で銅メダルを獲得した黒川宗一郎選手と三輪選手の日本選手同士が、男子無差別級の3位決定戦で対戦し、押し出しで三輪選手が銅メダルをつかんだ。相撲競技3日目のメダル獲得となり、日本の国技の迫りに観衆も大いに魅了された。

競技4日目、ワールドゲームズ4日目の出場となるパワーリフティングの福島選手は、女子ライトウエイトで銀メダルを手にし、通算4日目のメダル獲得の偉業を達成。体操のトランポリンでは、中園・石川ペアが男子シンクロナイズドで銅メダル。2009年の第8回大会以来2大会ぶりのメダルとなった。



空手 男子形で優勝した喜友名選手、表彰台の様子



開会式の様子。
4万人の大観衆に見守られるなか、各国の選手団が入場

男子ライフセービング。
4×50m障害物リレーで金メダルを獲得した
(左から安藤選手、
幡野選手、
西山選手、平野選手)



4大会連続メダルの
パワーリフティング福島選手

男子リードで金メダルを獲得した是永選手
[写真提供:日本山岳・スポーツクライミング協会]



大差で優勝した
エアロビック・トリオ日本チーム。
左から金井選手、杉原コーチ、
北爪選手、斉藤選手
[写真提供:日本エアロビック連盟]



空手は日本選手全員がメダルを獲得

折り返しとなる競技5日目、注目の空手初日は、男子形の喜友名選手、女子形の清水選手ともに金メダル。清水選手はこの日、日本選手唯一のアスリート・オブ・ザ・デイ[※]を受賞した。初優勝を果たした喜友名選手は、「前回大会での悔しさをばねに稽古をしてきました。優勝できてとてもうれしいです」と喜びを語った。女子組手-50kgに出場した宮原選手は、決勝戦で惜しくも敗れ、銀メダル。アーチェリーの男子リカーブでは、ワールドゲームズ初出場の大貫選手が、準決勝で接戦の末アメリカに敗れたが、続く3位決定戦で勝利。銅メダルを獲得した。

空手2日目となった競技6日目、女子組手+68kgの植草選手は、前回大会に続き金メダルの快挙。さらに男子組手+84kgの香川選手がイランの選手に勝利し、金メダルを獲得した。前回大会金メダリストの染谷選手は、女子組手-68kg準決勝で敗れたものの3位決定戦で完勝し、銅メダルを手にした。同じく、前回大会金メダリストの荒賀選手は、決勝戦で惜しくも敗れ、銀メダル



空手 女子組手+68kgの植草選手は2大会連続金メダルの快挙

となったが、「死に物狂いで練習をして、2020年の東京オリンピックでは金メダルを獲りたい」とオリンピック出場へ意欲を見せた。 ※その日最も良いパフォーマンスを見せた選手に贈られる賞

日本初となるメダル獲得競技が続々

競技7日目は、ウエイクボードの男子フリースタイルで、初出場の手塚選手が優勝。種目としては第6回大会以来、4大会ぶりの金メダルとなった。手塚選手は「金メダルを獲得できてとてもうれしい。これを通してウエイクボードをたくさんの人に知っていただきたい」と、ウエイクボード競技の発展に期待を寄せた。

競技8日目、柔術男子62kg寝技の倉岡選手が、3位決定戦でイスラエル選手を制し銅メダル。柔術でのメダル獲得は日本初となり、ワールドゲームズ初出場にして快挙を成し遂げた。

競技9日目のビリヤードでは、初出場の大井選手が、男子プールで銅メダル。ビリヤードでの日本初のメダル獲得となった。

最終日の閉会式では、次回開催地アメリカのバーミングハム市長にワールドゲームズ旗が手渡され、4年後の大会に向けバトンが引き継がれた。選手たちの活躍に胸を躍らせた多くの観衆がフィナーレを盛り上げ、11日間におよび大会の幕を閉じた。



ウエイクボードで4大会ぶりに金メダルを獲得した手塚選手



柔術で日本初のメダルを獲得した倉岡選手

閉会式では、選手・役員・ボランティアなど数千人が集まり、セレモニーに華をそえた



日本選手メダル獲得一覧

日本選手団は、金9、銀6、銅7の計22個のメダルを獲得。前回大会を大きく上回る結果を残しました。

[前回大会:2013年:金5、銀1、銅4 計10個 公式競技のみ]

競技	種目	選手	メダル
体操	エアロビック・トリオ	金井拓海	金
		北爪凜々	
		斉藤瑞己	
空手	+84kg 組手	香川幸允	金
空手	+68kg 組手	植草歩	金
空手	形	喜友名諒	金
空手	形	清水希容	金
ライフセービング	4 × 50m 障害物リレー	安藤秀	金
		西山俊	
		幡野圭祐 平野修也	
スポーツクライミング	ボルダリング	緒方良行	金
スポーツクライミング	リード	是永敬一郎	金
水上スキー・ウエイクボード	フリースタイル	手塚翔太	金
空手	-84kg 組手	荒賀龍太郎	銀
空手	-50kg 組手	宮原美穂	銀
パワーリフティング	ライトウエイト級	福島友佳子	銀
スポーツクライミング	リード	波田悠貴	銀
スポーツクライミング	ボルダリング	野中生萌	銀
相撲	中量級	太田麻乃	銀
アーチェリー	リカーブ	大貫渉	銅
ビリヤードスポーツ	プール	大井直幸	銅
体操	トランポリンシンクロナイズト	中園貴登	銅
		石川和	
柔術	62kg 寝技	倉岡 ジョンカルロス博	銅
空手	-68kg 組手	染谷香予	銅
相撲	重量級	黒川宗一郎	銅
相撲	無差別級	三輪隼斗	銅

日本代表選手一覧

18競技98名の選手が出場しました。

…日本ワールドゲームズ協会加盟団体競技



アーチェリー

公益社団法人 全日本アーチェリー連盟
東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育館4F
Tel:03-3481-2402 Fax:03-3481-2403 <http://www.archery.or.jp/>



大貫 渉 おおぬき わたる
男・23歳(初) 神奈川県出身 リカーブ 3位 **銅**
立教大学

初のワールドゲームズでメダルを獲得できてよかったです。試合自体はよかったものの、世界陸上や世界水泳に比べて日本で報道される機会が少ないことが非常に残念です。次の大会ではさらに高成績が残せると思うので、もっとメディアに取り上げてもらえるようアピールをお願いします。



丸山 美幸 まるやま みゆき
女・38歳(初) 群馬県出身 ペアボウ 9位
群馬県アーチェリー協会

初出場でしたが、ウロツワフは治安も良く、ボランティアの方々も親切で安心して競技ができました。日本の他競技や同じ競技の選手の好成績は良い刺激となり、今後の競技の糧となりました。私自身の成績は満足できるものではなかったので、また機会があれば少しでも良い成績を出せるよう頑張りたいです。



ビリヤードスポーツ

公益社団法人 日本ビリヤード協会
東京都港区元赤坂1-5-11 元赤坂マンション603
Tel:03-5770-7911 Fax:03-5770-7913 <http://www.nba.or.jp/>



梅田 竜二 うめだ りゅうじ
男・48歳(2) 東京都出身 スリークッション ベスト16
日本プロビリヤード連盟



大井 直幸 おおい なおゆき
男・34歳(初) 東京都出身 ブール 3位 **銅**
日本プロポケットビリヤード連盟

初めて出場させていただき、素晴らしい経験ができました。準決勝戦では負けてしまい金メダルが取れずに悔しい思いをしましたが、何とか銅メダルが取れてよかったと思います。この経験を生かし、世界一になれるよう努力します。ビリヤードがオリンピック競技になることを願います。



河原 千尋 かわはら ちひる
女・32歳(初) 大阪府出身 ブール ベスト8
日本プロポケットビリヤード連盟



ボウリング

公益財団法人 全日本ボウリング協会
東京都港区芝4-4-10 サンライズ長井ビル8F
Tel:03-3452-4501 Fax:03-3452-4504 <http://www.jbc-bowling.or.jp/>



新畑 雄飛 しんばた ゆうひ
男・23歳(初) 東京都出身 シングルス 予選19位
京王興産

非常に思い出深い大会でした。今大会はシングルスとダブルスのみで、決断のスピードが求められる大会でしたが、力足らず結果につなげられませんでした。6Gという短いゲーム内でのプランニングをしっかりと組み、使用ボールラインアップの見直しを課題として、今後につなげていきたいです。



和田 翔吾 わだ しょうご
男・27歳(初) 福岡県出身 シングルス ベスト16
和歌山県海草振興局建設部

4年に一度の世界のトップ選手が集う今大会には、選手全員強い思い入れを持って臨みました。男女共に決勝トーナメントに進み、世界相手に臆せず現状の力を出し切れた一方で、メダルなしという結果。次回大会では今回の経験を糧にメダルを取れるよう、さらに練習に励みたいと思います。



石本 美来 いしもと みらい
女・20歳(初) 広島県出身 シングルス ベスト16
岡山商科大学

メダルは取れませんでしたでしたが、トッププレイヤーと戦い自分を試すことで課題を実感しました。普段と違うゲーム方式はとても明解で面白く感じました。勝負どころでのスイッチの入れどころや気持ちの切り替えがとても重要で、世界との差を感じました。この経験を世界選手権で生かせるよう精進します。



竹川 ひかる たけかわ ひかる
女・26歳(初) 岡山県出身 シングルス 予選17位
スポーツ安全協会岐阜県支部

現地スタッフの温かいおもてなしがとてもうれしかったです。メダルが取れず悔しい結果でしたが、今大会のような競技方法はなかなかなく、1ゲームの大切さやレーン変化への対応の難しさを感じました。この経験を糧に世界選手権、アジア競技大会で男女共にメダルを取れるように頑張ります。



ダンススポーツ

公益社団法人 日本ダンススポーツ連盟
東京都江東区有明3-4-2 有明センタービル1F
Tel:03-6457-1850 Fax:03-6457-1857 <http://www.jdsf.or.jp/>



山本 武志 やまもと たけし
男・31歳(初) 石川県出身 スタンダード 19位
シノダ・スポーツダンスクラブ

初参加のワールドゲームズで、いろいろな種目の方達とも交流でき、私自身はメダルに届きませんでしたが、世界大会で活躍する難しさ、大変さ、素晴らしいを肌で感じる事ができました。大きな国際大会に日本人代表として参加できたことが自信につながり、今後の人生にもプラスになると感じています。



木嶋 友美 きじま ともみ
女・31歳(初) 東京都出身 スタンダード 19位
シノダ・スポーツダンスクラブ

日本代表として出場でき、とても良い経験になりました。一緒に競技することのないアマチュアとプロが競い合い、非常にハイレベルな戦いでした。このような大きな国際試合に参加できて本当にうれしく思います。目標には遠く及びませんでしたが、次に向けて練習を積んでいきたいです。



藤井 創太 ふじい そうた
男・18歳(初) 福岡県出身 ラテン 20位
東京学館高等学校

ラテンの日本代表として参加できたことに感謝しています。世界トップの選手たちと同じフロアで踊り、とても刺激を受けました。いつも以上に自分たちのベストを尽くせたと思います。この経験を生かし、またチャンスがあれば世界のトップに並ぶくらいの力をつけられるよう頑張ります。



吉川 あみ よしかわ あみ
女・18歳(初) 東京都出身 ラテン 20位
東洋大学

素晴らしい大会に出場でき、とても良い経験になりました。結果は予選敗退と悔しかったですが、世界の選手とのレベルの差を痛切に感じました。世界の選手と同等に戦うには何をすればよいか明確になったと思います。次の大会も出場できたらメダルを取れるよう頑張りたいと思います。



水中スポーツ

一般社団法人 日本水中スポーツ連盟
東京都新宿区新宿4-3-17 FORECAST新宿 SOUTH 6F
Tel:03-6862-6195 Fax:03-6866-9994 <http://www.jusf.gr.jp/>



平野 修也 ひらの なおや
男・31歳(初) 東京都出身 ビーフィン100m 8位 50m 6位
Delfino

フィンスイミングでは50mビーフィン種目で、エントリー順位が最下位の8番エントリーでしたが、結果6位と順位を上げることができました。また4年後のアムステルダム大会にも出場できるよう頑張っていますのでよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。[ライフセービング競技にも出場]



森 琴音 もり ことね
女・21歳(初) 神奈川県出身 アブニア50m 8位
NAIA-F

街全体で大会を盛り上げており、現地の方々が何度も優しく笑いかけてくださって、嬉しかったです。これまでの海外遠征とは全く違う経験がたくさんでき、レース以外の部分でも成長できたと思います。フィンスイミングは女子1人なのでリレーにも出場できるよう底上げし、その主軸になっていきたいです。



フライングディスク

一般社団法人 日本フライングディスク協会
東京都大田区東糀谷6-4-8
Tel:03-6423-6801 Fax:03-4335-2381 <http://www.jfda.or.jp/>



川瀬 絢士郎 かわせ けんじろう
男・28歳(初) 兵庫県出身 ミックス・アルティメット 5位
大阪スピリッツ

世界の壁は高く厚い。おそらく従来通りでは勝てないので、どんどん新しいアルティメットにチャレンジして上位成績を目指したいと思っています。



KUNIEDA Andrew Tatsunari
くにえだ あんどりゅー たつなり
男・30歳(初) California, US出身 ミックス・アルティメット 5位
大阪スピリッツ

本当にあつと言う間に終わってしまうので、やることをやり、大事なことに集中して、時間を無駄にしないようにしたいです。



玄島 岳 げんしま がく
男・27歳(初) 宮城県出身 ミックス・アルティメット 5位
ロキートス

「自分のプレーに自信を持っているか」「自分のチームに自信を持っているか」「誰よりも活躍するイメージを持っているか」。次こそは金メダルを取ってほしいと思います。



古森 貴陽 こもり たかはる
男・28歳(初) 埼玉県出身 ミックス・アルティメット 5位
ノマディックライブ

大会期間はあっという間に過ぎていきました。現地では日本国内でどれだけ準備しても足りることはないと感じました。その思いで日本国内からも準備をしていくべきと感じました。



志村 優太 しむら ゆうた
男・35歳(初) 神奈川県出身 ミックス・アルティメット 5位
大阪スピリッツ

5位は満足できる結果ではありませんが、前年のA代表、ワールドゲームズの選考から本番まで、目標に向けて邁進した日々は今後につながる忘れられない経験です。そこで感じた日本アルティメットの進むべき方向性を所属チーム等で再現していくことが、応援してくれた方々への責任だと考えています。



本名 拓 ほんな たく
男・25歳(初) 千葉県出身 ミックス・アルティメット 5位
ノマディックライブ

悔いが残る忘れられない大会となりました。4年後に必ずリベンジします。



山口 崇行 やまぐち たかひろ
男・26歳(初) 神奈川県出身 ミックス・アルティメット 5位
ノマディックライブ

5位という結果は本当に悔しいです。OFのフェイクなどの基礎の徹底。DFの左右についていけるフィジカルと脚力。アメリカ・コロンビア・カナダとの差を痛感しました。日本はまだまだチャレンジャー。たくさん練習して4年後のメンバーには思い切ったプレーをしてほしいです。



稲村 知子 いなむら ともこ
女・27歳(初) 大阪府出身 ミックス・アルティメット 5位
壺

運動量で勝負しなければ外国選手に勝てないと、この大会で感じました。その上で、日本らしい球離れの早い攻め、カットをうまく使っていきたいです。日本と海外との差はどんどん開いています。国内でも常に外国選手の高さやパワーを意識して練習していくことを日本の仲間へ伝えたいと思います。



井上 紗央里 いのうえ さおり
女・25歳(初) 埼玉県出身 ミックス・アルティメット 5位
スワンピーバーク

世界との差をすごく感じた大会でした。この経験をただの経験ではなく、絶対に結果につなげます。強い日本、勝てる日本にします!



小林 可奈 こばやし かな
女・25歳(初) 東京都出身 ミックス・アルティメット 5位
ハック

想像以上に大きな大会で、出場できたことを誇りに思います。第5位と目標には程遠い結果になってしまいました。各国のレベルが上がっており、努力の必要を感じました。多くの人にこの競技を知ってもらい、応援いただいている皆さんに恩返ししたく、次の大会で結果を出せるよう頑張ります。



佐藤 由布子 さとう ゆうこ
女・28歳(初) 東京都出身 ミックス・アルティメット 5位
ハック

自分の弱さと向き合い、日本や仲間の強みを真剣に考えた大会でした。様々なトラブルを乗り越えて、チーム一丸となるのを感じましたが、心の底から日本一のチームだといえるように時間をかけてつくりあげたかったです。世界との差を肌で感じた経験を身近なところから還元し、引っ張っていきたいです。



嶋田 理沙 しまだら りさ
女・24歳(初) 埼玉県出身 ミックス・アルティメット 5位
マッド

本大会を振り返ると、大事な1点をとりきる強さ、リード展開の試合を最後の1点までとって勝ちきる強さが日本にはまだまだ足りませんでした。



田村 友絵 たむら ともえ
女・27歳(初) 東京都出身 ミックス・アルティメット 5位
マッド

初のアメリカ戦で身体能力や体格、それ以上にプレーの差を感じました。「どんな時でも強気なプレーを」と臨み、その面では負けた気はしませんが、精神力、技術面で日本の劣っている部分が見えた大会でした。今後は日本のアルティメットを引っ張り、個人・チームの底上げができるような選手になります。



藤岡 あゆみ ふじおか あゆみ
女・38歳(3) 兵庫県出身 ミックス・アルティメット 5位
ハック

私にとって特別で、年々大規模になるワールドゲームズにまた参加できて感慨深いです。競技は結果だけでなく、過程や「思い」もそれ以上に大事だと思います。4年後のメンバーには、責任と覚悟を持ち、与えられている環境に感謝しつつ、私たちの「思い」をつないでほしいです。日本に「金」を!!



体操・エアロビック

公益社団法人 日本エアロビック連盟

東京都品川区東大井5丁目7番10号 クレストワン3F

Tel:03-5796-7521 Fax:03-5796-7527 <http://www.aerobic.or.jp/>



金井 拓海 かない たくみ

男・20歳(初) 群馬県出身 トリオ1位 ミックスベア4位 **金**

SKJエアロビックスリートクラブ

幼い頃からワールドゲームズでのメダルを目標にエアロビックをやってきたので、トリオでの金メダルは大変嬉しいです。前日のミックスベア部門では4位だったので、トリオは緊張しましたが、より価値のあるメダルになりました。この経験を生かしてエアロビックを盛り上げてメジャーにしたいです。



北爪 凜々 きたづめ りり

女・19歳(初) 群馬県出身 トリオ1位 ミックスベア4位 **金**

SKJエアロビックスリートクラブ

小さな頃から共に練習した仲間と目標の金メダルを獲得できて大変嬉しいです。前日のミックスベア部門で経験したどん底の気持ちを一日でリセットできてこそこの金メダルなので、さらに価値あるメダルです。この大会に出場して優勝できたことへの誇りと感謝の気持ちを忘れずさらに上を目指したいです。



斉藤 瑞己 さいとう みずき

男・20歳(初) 群馬県出身 トリオ1位 **金**

SKJエアロビックスリートクラブ

他競技との関わりもあり新鮮で意識が高まりました。オリンピック種目にはないエアロビック競技にとって、最高峰の大会での優勝は嬉しいですが、第2のオリンピックといわれる大会だけに、国内メディアでも取り上げ、盛り上がるとうれしいです。この競技をもっと知ってもらえるよう努力します。



体操・新体操

公益財団法人 日本体操協会

東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館5F

Tel:03-3481-2341 Fax:03-3481-2344 <http://www.jpn-gym.or.jp/>



皆川 夏穂 みながわ かほ

女・19歳(初) 千葉県出身

新体操 フープ6位、リボン5位、クラブ 予選9位、ボール 予選13位
イオン

世界選手権のシミュレーションができた試合でした。雰囲気もとても良く、楽しみながら試合できました。世界選手権と同じ予選と決勝が同日で、調整しながら試合に臨むことができました。東京オリンピックに向けて一つ一つの試合を大切に自分の力にして、メダルを取れるように頑張りたいです。



体操・トランポリン

公益財団法人 日本体操協会

東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館5F

Tel:03-3481-2341 Fax:03-3481-2344 <http://www.jpn-gym.or.jp/>



石川 和 いしかわ やまと

男・18歳(初) 茨城県出身 シンクロナイズド3位 **銅**

金沢学院大学クラブ

初のワールドゲームズ参加で、とても緊張しました。初めてのシニアの試合で3位という結果を残せてとてもうれしいです。また、中国やロシアの選手にとっても刺激を受けました。今後の目標は、世界選手権やワールドカップ出場。中国やロシアの強豪国に勝てるように、しっかりと練習していきたいです。



中園 貴登 なかの たかと

男・18歳(初) 大阪府出身 シンクロナイズド3位 **銅**

金沢学院大学クラブ

初のシニアの世界大会で分からないことが多いなか、先輩方やコーチの方々にたくさんのお話を教えていただき支えられてメダルが取れました。周りの方々の協力のおかげで大切に感じた試合でした。チームJAPANとして戦えて本当に良かった。トップ選手から得たものを今後の糧にしていきたいです。



佐竹 玲奈 さたけ れいな

女・22歳(初) 石川県出身 シンクロナイズド5位

アポロメディカル

4年に1度のワールドゲームズで、今回はシンクロナイズドのみに出場させていただきました。とても新鮮で良い経験ができました。ここまで来るのに多くの支えがあったので、たくさんの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。今後は東京オリンピックでのメダル獲得の目標達成に向けて、日々努力していきます。



土井畑 知里 どいはた ちさと

女・22歳(初) 大阪府出身 シンクロナイズド5位

三菱電機

4年に一度の大舞台への出場は良い経験となりました。大会場だけでなく街中でワールドゲームズの看板を見かけ、街が大会に協力的だという好印象を受けました。会場の空気もよく、演技したくなるような明るい雰囲気でした。優勝できる実力があっても本番で発揮できなかったことが悔やまれます。



柔術

一般社団法人 全日本柔術連盟

東京都世田谷区松原1-34-16 1F

Tel:070-5013-6577 <http://jijf.org/>



倉岡 ジョンカルロス 博 くらおか じょんかるす ひろし

男・36歳(初) 愛知県出身 62kg寝技3位 **銅**

AXIS柔術アカデミー

初めての出場でしたが、おかげさまで3位を勝ち取ることができました。柔術競技の初メダルとなりました。4年後には日本からよりたくさんの選手が出場し、メダルを獲得できるように活動をしていきたいです。



空手

公益財団法人 全日本空手道連盟

東京都江東区辰巳1-1-20

Tel:03-5534-1951 Fax:03-5534-1952 <http://www.jkf.ne.jp/>



荒賀 龍太郎 あらが りゅうたろう

男・26歳(2) 京都府出身 -84kg組手2位 **銀**

荒賀道場

今大会、連覇を目指していましたが決勝戦で負けてしまいました。この悔しさをバネに今後一層努力し、これからの大会でも優勝を目指して頑張ります。



香川 幸允 かがわ ひでよし

男・29歳(初) 東京都出身 +84kg組手1位 **金**

テアトルアカデミー

金メダルを取ることができました。多くの方の支えでこのような結果を残すことができたので、周りの方々に感謝し、次の大会でも優勝できるように頑張ります。



喜友名 諒 きゆなりょう

男・27歳(2) 沖縄県出身 形1位 **金**

沖縄劉衛流空手・古武道龍鳳会

大会は時間通りで、スタッフも親切でとてもよかったです。ポーランドでは楽しく過ごせました。ありがとうございました。



植草 歩 うえくさ あゆみ

女・24歳(2) 千葉県出身 +68kg組手1位 **金**

高栄警備保障

空手がオリンピック競技になり、最後となるであろうワールドゲームズ。前回優勝で、注目と期待のなか、今大会で2連覇でき、有終の美を飾ってとてもうれしいです。空手競技の7人全員がメダルを獲得し、日本チームの強さも見せつけられ、これを糧に東京オリンピックで優勝し日本に貢献したいです。



清水 希容 しみず きよう

女・23歳(初) 大阪府出身 形1位 **金**

ミキハウス

今大会は、到着時からハブニングもあり、コンディションの調整がかなり厳しかったです。国際大会になると、いつもと環境は変わりますが、今回のようなことが今後も起こることを想定し、臨機応変に対応できる力をつけることが必要だと感じました。大変ではありましたが、良い勉強にもなりました。



染谷 香予 そめや かよ

女・26歳(2) 茨城県出身 -68kg組手3位 **銅**

テアトルアカデミー



宮原 美穂 みやはら みほ
女・20歳(初) 福岡県出身 -50kg組手 2位 **銀**
帝京大学

初出場が強い選手ととても意味のある試合ができました。決勝では負けたものの、強くなるチャンスをつくったものと思います。8人しか出られない試合に選出いただき、本当にありがとうございます。優勝を狙いながら最後まで負けた心の弱さを克服し、来年の世界大会と東京オリンピックで必ず優勝したいです。



ラクロス

日本ラクロス協会
東京都中央区日本橋雷町4-9 CPIビル3F
Tel:03-3666-2862 Fax:03-3666-2945 <http://www.lacrosse.gr.jp/>



青木 佑夏 あおき ゆか
女・22歳(初) 兵庫県出身 5位
関西学院大学

ラクロスがワールドカップ種目になるきっかけの一つだった大会に出場できて、大きな自信となりました。世界における日本ラクロスのレベルを知ることができ、ワールドゲームズに参加した1人として、それを伝え続けていきたいと思っています。



池田 玲衣 いけだ れい
女・21歳(初) 東京都出身 5位
立教大学

ハイレベルのチームでプレーし、得るものが非常に多かったと感じています。日本のレベルを再確認するとともに、ラクロスの世界の中でよりメジャーにするために、なすべきことが明確になりました。多くの方に応援、ご支援いただき、期待に応えられるプレーや行動を心がけていきたいです。



井上 果歩 いのうえ かほ
女・21歳(初) 茨城県出身 5位
立教大学

ワールドゲームズに参加できたことを誇りに思うとともに、この大会で終わらず10年後の日本ラクロスを発展させていけるように、次回大会でも活躍します。ありがとうございました。



岩田 菜央美 いわた なおみ
女・21歳(初) 神奈川県出身 5位
早稲田大学

日本でも行われたことのないルールでの競技でしたが、プレーしていて面白かったです。このルールがワールドスタンダードになるであろうオリンピックでは、さらにより成績が取れるように貢献したいです。初めてラクロスを見るポーランドの方々前でプレーできたことも非常に面白かったです。



影山 乃依 かげやま のえ
女・21歳(初) 東京都出身 5位
東海大学

貴重な経験をさせていただき、今後のラクロスに生かしていきたいです。また、ラクロスが世界に普及してほしいと思います。ワールドゲームズからオリンピック競技になることを期待しています。



兼任 春奈 かねとう はるな
女・23歳(初) 兵庫県出身 5位
NLC SCHELZO

ラクロスがオリンピック競技になる日が近いと感じた大会でした。



小峯 祥子 こみね さちこ
女・21歳(初) 千葉県出身 5位
青山学院大学

ワールドゲームズに参加できたことをとても光栄に思います。トップレベルの国と対戦でき、日本で足りない部分や個人での課題が見つかったので、今後のラクロス発展に向けて周りに発信していきたいです。カナダの選手などが日本に来てラクロスを教える機会があればとても良いと思います。



佐藤 加奈子 さとう かなこ
女・24歳(初) 愛知県出身 5位
MISTRAL

ワールドゲームズ参加にあたり、まだワールドゲームズの認知度の低さを感じました。第2のオリンピックとして注目される大会になるとよいと思います。



関口 紗生 せきぐち さき
女・20歳(初) 神奈川県出身 5位
東京農業大学

初のラクロス競技の参加でしたが、大会の雰囲気などすごく面白かったです。次回大会までには、もっとラクロスの人気が高まっていることを期待します。



高橋 未帆 たかはし みほ
女・23歳(初) 東京都出身 5位
MISTRAL

現地の方々が非常に親切でやりやすかったです。



多賀 麻文 たが まあや
女・23歳(初) 神奈川県出身 5位
NeO

貴重な経験になりました。ワールドゲームズの知名度を上げていきたいと思っています。



竹村 薫 たけむら かおる
女・22歳(初) 神奈川県出身 5位
慶應義塾大学

クロージングセレモニーが素晴らしいかったです。



竹本 萌優 たけもと もも
女・20歳(初) 大阪府出身 5位
同志社大学

今大会は5位という結果に終わってしまいました。次の大会ではより多くの国が参加するなかで結果を残し、よりよいものとし、オリンピック競技になれるよう、日本ラクロス自身も努力していきます。



田中 希実 たなか のぞみ
女・21歳(初) 埼玉県出身 5位
立教大学

今大会に出場することができ、大変光栄でした。ラクロス向上のため、これからも日々精進いたします。



水戸 理恵 みと りえ
女・27歳(初) 東京都出身 5位
FUSION

素晴らしい大会運営でした。



ライフセービング

特定非営利活動法人 日本ライフセービング協会
東京都港区浜松町2-1-18 トップスビル1F
Tel:03-3459-1445 Fax:03-3459-1446 <http://www.jla.gr.jp/>



安藤 秀 あんどう すくむ
男・26歳(初) 大阪府出身 4×50m障害物リレー 1位 **金**
瀬河原 LSC

町全体がライフセービングのみの世界大会にはない大会ムードで、レースに臨むモチベーションはさらに高まりました。個人種目で決勝進出、リレー種目で優勝(世界新記録)でき、とても満足のいく大会でした。オリンピック種目にはない競技ですが大規模の大会開催はとてうれしく、さらに発展してほしいと思います。



上野 凌 うえの りょう
男・21歳(初) 神奈川県出身 4×25mマネキンリレー予選 5位
西浜 LSC

チームから多くの日本新と世界新記録での優勝も成し遂げました。このチームの一員でいられたことは誇りであり、メンバーをさまざまな面からサポートできたと思います。今後も代表チームがより良い成績を残すことで水辺の事故ゼロにつながる存在であり続けることを目指し、貢献し続けたいです。



西山 俊 にしやましゅん
男・28歳(初) 神奈川県出身 4×50m障害物リレー 1位 **金**
瀬河原 LSC

初のワールドゲームズ出場で世界新記録・金メダルを含む好成績を残せたのは非常に喜ばしいですが、個々の能力はまだ世界のトップレベルとはかけ離れていることを実感しました。次回大会では個人種目でもメダルを獲得し、日本のライフセーバーが世界で戦えることを証明したいです。



ライフセービング



幡野 圭祐 はたの けいすけ

男・22歳(初) 東京都出身 4×50m障害物リレー 1位 **金**

白浜LSC

私自身、初出場で開催式で行進した時の興奮は忘れられません。競技では様々な新記録が生まれ、その一つが日本チームの世界新記録です。素晴らしい環境と手厚いサポートがあって成し遂げられた事であり関係者の皆さまには大変感謝しています。私が出場した中で一番興奮した大会でした。



平野 修也 ひらの なおや

男・31歳(初) 東京都出身 4×50m障害物リレー 1位 **金**

辻堂LSC

日本初(世界初!?)となる2競技出場で、手続等お手数をおかけたことと思いますが、選手として、最低限の結果を出せたと思います。少しでも日本のスポーツ発展に貢献したいという思いもあり、世界新記録でのリレー優勝で目標を達成できました。4年後のアメリカ大会にも出場できるよう頑張ります。

[水中スポーツ競技にも出場]



我妻 菜登 あづま なみ

女・27歳(2) 北海道出身 4×50mメドレーリレー 6位

勝浦LSC

前回の大会に続き2大会連続で出場させていただきました。日本チームは歴史に残る好成績を残すことができ、とても思い出深い大会となりました。出場にあたりご尽力いただいた関係者の皆さまにお礼申し上げます。



栗真 千里 くりま ちさと

女・26歳(初) 東京都出身 4×25mマネキンリレー 5位

鏡子LSC

日本のチーム力が良い結果につながったと思います。まだ個々で出し切れなかった部分もたくさんあるので、もっと高みを目指せと思っています。今後もライフセービングの普及に努めてまいりますので応援のほどよろしく願っています。



成澤 侑花 なるさわ ゆうか

女・20歳(初) 長野県出身 4×25mマネキンリレー 5位

九十九里LSC

初の海外遠征でフライトやコンディショニングの失敗もありましたが、海外選手のレベルの高さを実際に見られたことは国内大会や練習での意識の差につながると感じます。モチベーションを維持し、さらに高い場所を見据えたトレーニングを続けて、社会人になっても4年後の大会に出場したいです。



三井 結里花 みつい ゆかり

女・25歳(2) 東京都出身 50mマネキンキャリー 5位

九十九里LSC

前は練習で出場でしたが、今回は自分たちで出場を勝ち取った大会でした。スイングは貴重な経験で、緊張しつつも大舞台に立てていることに感謝して、やるべきことに集中しました。開会式では特別な空気を感じ、日本代表であることを誇りに思いました。次はメダル獲得に向けて突き進みます。



山本 裕紀子 やまもと ゆきこ

女・30歳(初) 奈良県出身 4×25mマネキンリレー 5位

若狭和田LSC

オリンピックのようなスケールに感激しました。男子が世界記録で優勝。個人でも決勝に進出し、リレーでは日本新記録連発という素晴らしい結果が出せたのも、周りの方々のサポートのおかげと感謝しています。この経験を後輩に伝え、4年後はさらに活躍できるよう今後を過ごしたいと思います。



オリエンテーリング

公益社団法人 日本オリエンテーリング協会

東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館B1F

Tel:03-3467-4548 Fax:03-3467-4549 <http://www.orienteeing.or.jp/>



谷川 友太 たにかわ ゆうた

男・29歳(初) 愛知県出身

スプリント 39位 ミドルディスタンス 37位

OLCルーバー

初めてのワールドゲームズでしたが、外の競技もある大会で、世界選手権などはまた違った環境でした。このような素晴らしい大会に出場できたことを光栄に思います。この経験を生かして今後も頑張っていきたいです。



パワーリフティング

公益社団法人 日本パワーリフティング協会

東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館4F

Tel:03-3481-1020 Fax:03-3481-1021 <http://www.jpa-powerlifting.or.jp/>



大谷 憲弘 おおたに のりひろ

男・37歳(初) 神奈川県出身 ミドルウエイト級 9位

エスカティア



佐藤 義宏 さとう よしひろ

男・34歳(初) 福島県出身 ライトウエイト級 8位

速太郎道場



濱田 展行 はまだ のぶゆき

男・47歳(初) 大阪府出身 ミドルウエイト級 8位



福島 友佳子 ふくしま ゆかこ

女・47歳(5) 兵庫県出身 ライトウエイト級 2位 **銀**

パワーハウス



スポーツクライミング

公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会

東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館4F

Tel:03-3481-2396 Fax:03-3481-2395 <http://www.jma-sangaku.or.jp/>



緒方 良行 おがた よしゆき

男・19歳(初) 福岡県出身 ボルダリング 1位 **金**

福岡県連盟

開会式では大観衆の前で入場するなど、なかなかできない経験ができました。



是永 敬一郎 これなが けいいちろう

男・21歳(初) 埼玉県出身 リード 1位 **金**

埼玉県連盟

優勝できてよかったです。観客・会場ともに最高の大会でした。



檜崎 智亜 ならさき ともあ

男・21歳(初) 栃木県出身 ボルダリング 5位

栃木県連盟

優勝することはできませんでしたが、4年に一度という緊張感を味わうことができ、よかったです。今回の経験を生かし、さらに成長したいと思います。ありがとうございました。



波田 悠貴 はだ ゆうき

男・20歳(初) 埼玉県出身 リード 2位 **銀**

埼玉県連盟

初出場で緊張しましたが、つい先日のシャモニーワールドカップで表彰台に上がったので、メンタル的にもうまいき、2位に入れました。大舞台の表彰台に上がれてとてもうれしいです。リードワールドカップにあと3戦出場する予定なので、決勝に残り強い海外選手や日本のトップ選手と戦いたいです。



藤井 快 ふじい こころ

男・24歳(初) 静岡県出身 ボルダリング 予選7位

東京都連盟

大会運営が滞っていた場面もありましたが、とても良い大会でした。



尾上 彩 おのえ あや

女・21歳(初) 埼玉県出身 ボルダリング 予選8位

福井県連盟

決勝進出や表彰台とはかけ離れた悔しい結果でしたが、大規模な大会で戦えてとても光栄です。グロウアップは人も親切で物価も安く、快適でした。ワールドゲームズでの反省を今後に生かし、開花できるよう頑張ります。海外選手を日本に迎える際は“おもてなし”の心で快適に過ごすお手伝いをしたいです。



野口 啓代 のぐち あきよ
女・28歳(2) 茨城県出身 ボルダリング 4位 リード 6位
茨城県連盟
日本もワールドゲームズ用のユニフォームを用意してほしかったです。



野中 生萌 のなか みほう
女・20歳(初) 東京都出身 ボルダリング 2位 **銀**
東京都連盟
日本もワールドゲームズ用のユニフォームを用意してほしかったです。



小林 海咲 こばやし みさき
女・27歳(2) 神奈川県出身 シングルス ベスト 16
メッドサポートシステムズ



黒川 宏次朗 くろかわ こうじろう
男・22歳(初) 富山県出身
拓殖大学
大会の進行もスムーズで、試合に集中しやすい環境でした。次回のワールドゲームズにも出場できるように精進したいと思います。



黒川 宗一郎 くろかわ そういちろう
男・25歳(初) 富山県出身 重量級 3位 **銅**
アイシン軽金属
日本の大会とは違う雰囲気の中で試合を体験できました。重量級3位、無差別級4位と目標とは違いましたが、皆でつかみ取った結果なので満足です。選手団全員が良い結果を残せたわけではなく一人一人思いは違うと思いますが、このチームで戦えたことを今後の人生に生かしていきたいです。



柴岡 功 しばおか いさお
男・24歳(初) 高知県出身
ヨドバシカメラ
悔しい結果でしたが、ワールドゲームズに出場できたことは、とても良い経験となりました。会場の声援も大きく、様々な国の選手と交流でき、相撲は日本だけではなくいいことを実感しました。今回の悔しさをバネに、さらに技を磨きたいと思います。



野口 清之 のぐち きよゆき
男・26歳(初) 長崎県出身
平戸市生月中学職員
ワールドゲームズに出場させていただいて、世界の相撲のレベルが上がってきているのを感じました。特にロシア勢の活躍が刺激になっています。相撲は日本の国技であるため、日本人としての自覚を持ち、今後も練習に励んでいきたいと思っています。



三輪 隼斗 みわ はやと
男・22歳(初) 石川県出身 無差別級 3位 **銅**
糸魚川体育協会
世界大会の独特の雰囲気の中、中量級では自分の相撲が取れず初戦敗退の悔しい結果でした。無差別級では前日の悔しさを持って試合に挑みました。準決勝では優勝したロシア選手に敗れたものの、3位決定戦では勝つことができました。優勝を逃し悔しい結果となりましたが、今後も良い結果を残せるよう精進します。



上田 幸佳 うえた ゆか
女・25歳(3) 鳥取県出身
鳥取中学校職員
世界各国の選手と戦った今回の経験を生かし、さらに練習に励み、また国際大会の代表に選ばれるよう、頑張ります。



太田 麻乃 おおた あさの
女・31歳(3) 静岡県出身 中量級 2位 **銀**
静岡武道館職員
多くの方にご指導、ご声援をいただき、銀メダルを獲得できました。前大会からの3年間にけがや結婚など大きな転機がありましたが、ワールドゲームズがあったからこそ乗り越え、力に変えられたと思います。金メダルには届きませんでしたが、精一杯準備して迎えられた今大会は最高の思い出です。



奥富 夕夏 おくとみ ゆうか
女・19歳(初) 千葉県出身 軽量級 4位
日本大学
今回初めて国際的な試合に出場させていただきました。国内戦とは全く雰囲気の違い、とても緊張しましたが、今の自分の力を全て発揮しての4位でしたので、次回のワールドゲームズも日本代表に選出していけるよう稽古に励み、メダルを持って帰れるように頑張ります。



水沼 ひかる みずぬま ひかる
女・17歳(初) 愛媛県出身 中量級 4位
津島高校
結果としては大変悔しい気持ちが残りましたが、次に向けて課題が見つかったので練習を頑張りたいです。また各国の選手たちと交流することができ、とても貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。



手塚 翔太 てつか しょうた
男・23歳(初) 静岡県出身 ウェイクボード・フリースタイル 1位 **金**
今大会では協会の方にいろいろと段取りしていただき、助かりました。ありがとうございます。優勝という成績もおさめることができました。今後も自身を含め、次の世代の選手にもこのような素晴らしい大会に出場できる機会を作れるよう頑張っていきたいと思っています。



河原 乙翔 かわはら におは
女・14歳(初) 大阪府出身 ウェイクボード・フリースタイル 4位
最高峰の大会で世界のトップ選手と同じ舞台上に立てたことを誇りに思います。4年後も挑戦できるよう、精神面、技術面共に向上していきたいと思えます。日本ではまだ認知度の低いウェイクボードの大会に、鈴木大地スポーツ庁長官が応援に来て下さったことが、とても励みになりました。



廣澤 彩綾 ひろさわ さあや
女・32歳(3) 東京都出身 水上スキー・ジャンプ 8位
2009年から3回目の参加でしたが、全ての面で今大会が一番オーガナイズされていて選手としてとても過ごしやすいかったです。スケジュールの関係で開会式、閉会式に参加できなかったのが、他競技の日本選手と交流できる場があると良かったと思います。今回もとても良い経験となりました。



棟安 優月 むねやす ゆづき
女・16歳(初) 大阪府出身 ウェイクボード・フリースタイル 5位
名誉ある大会に出場させていただき、大変光栄に思っています。日本代表に選んでいただき、世界5位という成績を残せたことは自分にとってとても良い思い出となっています。今後の活動につなげていけるように頑張ります。ありがとうございました。



藤田 直子 ふじた なおこ
女・52歳(初) 神奈川県出身 インドアローイング 9位
Penta Rowing Club
全荷物ロスト、空港で夜明け。一睡もせず会場入りで替替えもない意気消沈のスタートに、大会スタッフ、ボランティアの方々で心強い励ましとTシャツ、短パン、靴下を手渡してくれました。最高のアスリート達と素晴らしいスタッフのおかげで9位ながら自己ベストを8秒更新できました。また出たいです!

スカッシュ

公益社団法人 日本スカッシュ協会
東京都千代田区外神田2-1-10 ニュー松本ビル2F
Tel:03-5256-0024 Fax:03-5256-0025 <http://www.squash-japan.org/>

相撲

公益財団法人 日本相撲連盟
東京都新宿区百人町1-15-20
Tel:03-3368-2211 Fax:03-3368-0440 <http://www.nihonsumo-renmei.jp/>

水上スキー・ウェイクボード

特定非営利活動法人 日本水上スキー・ウェイクボード連盟
東京都港区三田3-14-10 三田3丁目MTビル1F マリンスポーツ財団内
Tel:03-3454-1142 Fax:03-3454-1152 <http://jwsa.jp/>

インドアローイング【公開競技】

公益社団法人 日本ボート協会
東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育館4F
Tel:03-3481-2326 Fax:03-3481-2327 <http://www.jara.or.jp/>



藤田 直子 ふじた なおこ
女・52歳(初) 神奈川県出身 インドアローイング 9位
Penta Rowing Club
全荷物ロスト、空港で夜明け。一睡もせず会場入りで替替えもない意気消沈のスタートに、大会スタッフ、ボランティアの方々で心強い励ましとTシャツ、短パン、靴下を手渡してくれました。最高のアスリート達と素晴らしいスタッフのおかげで9位ながら自己ベストを8秒更新できました。また出たいです!

Medalist Inte

空手 女子形 金メダリスト 清水希容選手

——ワールドゲームズに初出場した感想をお聞かせください。

ワールドゲームズは大きな大会であったため、気持ちを入れて臨みました。普段の大会と環境が違い戸惑いもありましたが、それが刺激となり、挑戦できた大会となりました。日本の空手チームが健闘し、メダルを獲って帰れたことを大変誇りに思います。決勝戦は、自分としてはもっと出来る部分があったと思うので、2020年の東京オリンピックではさらに良い

演武を見せられるように頑張ります。また、「アスリート・オブ・ザ・デイ」という大変光栄な賞を頂きました。賞に恥じぬよう、また次の高みを目指していきます。

——空手の魅力とは。

空手は組手かたと形があります。組手はダイナミックな技や試合運びが魅力です。寸止めで突きや蹴りを相手の顔や腹などに決め、採点方式で勝負が決まります。わたしは形の選手ですが、形の難易度と、スピードやキレ、もともと決まっている形をどう表現するか、自分の良さをどれだけ見せられるかがポイントになります。簡単な



ようで難しい、奥の深い競技です。

——2020年の東京オリンピックに向けての意気込みは。

東京オリンピックまでの3年を、どのように取り組むかが大切になると思います。目標はもちろん優勝ですが、それ以上に良い演武をして、印象に残る選手を目指したいです。応援して下さる方には、生で空手を見ていただきたいと思いません。組手の迫力や形の良さを肌で感じてもらえると思うので、ぜひ一度会場に足

を運んでみてください。私も良い演武、良い結果を残して、皆さんに見ていただけるように頑張ります。



競技開催日別にその日最も良いパフォーマンスを行った選手に贈られる「アスリート・オブ・ザ・デイ」を受賞。日本選手で唯一の受賞となった



Profile

しみず・きょう 1993年12月7日大阪府生まれ。ワールドゲームズ2017に初出場し、女子形で金メダルに輝く。そのほか、2016年の世界空手道選手権オーストリア・リンツ大会女子KATA優勝(2連覇)、同年第44回皇后杯全日本空手道選手権女子KATA優勝(4連覇)、2017年プレミアリーグ ロッテルダム女子KATAで優勝するなど、数々のタイトルを獲得。

rview

ワールドゲームズ競技種目の中から、空手、スポーツクライミング、野球・ソフトボール、サーフィン、ローラースポーツ（スケートボード）の5競技が、2020年の東京オリンピックの追加競技として採用が決まっています。

このうち、今大会で金メダルを獲得した、空手の清水選手、スポーツクライミングの緒方選手にインタビュー。大会を振り返るとともに東京オリンピックへの意気込みなどを伺いました。

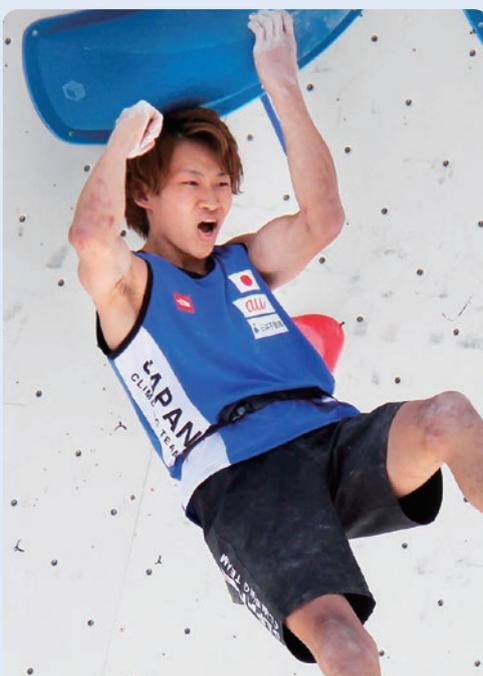
スポーツクライミング 男子ボルダリング 金メダリスト 緒方良行 選手

——ワールドゲームズに初出場した感想をお聞かせください。

ワールドゲームズは、4年に一度の貴重な大会という思いがあったので、優勝を目指して挑みました。世界大会で初めて優勝することができ、2020年の東京オリンピックへ弾みがつきました。スポーツクライミングは大会初日の競技だったので、メダルを獲得して日本チームに勢いをつけたいと思っていました。他の競技の日本選手も良い成績を収められたことがうれしかったです。開会式では、他の競技の方と交流をしたり大観衆の中で入場したりと、初めての経験が多く勉強になりました。大きな舞台に挑戦したことで、より一層オリンピックに対するモチベーションも高まりました。

——スポーツクライミングの魅力とは。

スポーツクライミングは全身を使う競技です。腕や指はもちろんですが、体幹や腹筋、足、全身の筋肉をバランスよく鍛えられます。フィットネス感覚で始める人も多く、老若男女問わず楽しめるスポーツで



す。クライミングのジムは意外と身近にあると思うので、気軽に始めてみてほしいと思います。

——2020年の東京オリンピックに向けての意気込みは。

スポーツクライミングは日本選手のレベルが非常に高いので、東京オリンピックでもぜひ期待していただきたいです。最近はSNSでもコメントを頂いたり、応援して下さる方のメッセージが自分の励みになっています。私自身まずは、3年間でさらに力をつけて代表選手になれるように頑張ります。そして、出場するからにはもちろん金メダルを目指します。

写真提供:日本山岳・スポーツクライミング協会



日本選手メダル第1号となる金メダルを獲得。同じく初出場で銀メダルを獲得した女子ボルダリングの野中選手(写真左)とともに東京オリンピックを目指す



Profile

おがた・よしゆき 1998年2月4日福岡県生まれ。小学5年生の時に、スポーツクライミングを始める。ワールドゲームズ2017に初出場し、男子ボルダリングで金メダルを獲得。他大会では、2017年IFSCクライミング・ワールドカップボルダリング ベイル3位、同年IFSC世界ユース選手権では、ボルダリング、リードで優勝するなど全種目で表彰台に立った。

スポーツ庁 鈴木大地長官 ワールドゲームズ大会 現地視察



スポーツ庁 長官
鈴木 大地

Profile

すずき・だいち 1967年3月10日生まれ。1998年ソウルオリンピック100m背泳ぎで金メダルを獲得。現役引退後は日本水泳連盟会長、日本オリンピック委員会理事などを歴任し、日本の水泳界を牽引。2015年10月、スポーツ庁初代長官に就任。

今夏、ポーランド共和国ヴロツワフ市で開催された「第2のオリンピック」と言われる第10回ワールドゲームズ大会を初めて視察させていただきました。

今回の大会では、日本選手団は過去2番目に多いメダル22個（金9、銀6、銅7）を獲得するなど、代表選手の皆様、また、代表選手の育成・強化に多大なご尽力をいただいた指導者の方々や各競技団体関係者の皆様に対し、深く敬意を表します。

特に2020年東京オリンピック競技大会において追加競技として実施することが決まっている空手やスポーツクライミングは、マスコミからの注目度も高かったかと思いますが、多くのメダルを獲得され、2020年東京大会に向けて期待のできる結果であったと

思います。

また、私も現地でたくさんの競技を視察させていただきましたが、オリンピックでは見ることのできない競技がたくさん実施され、それぞれに魅力があり、こうした競技に興味を持たれた方々もいらっしゃるのではないのでしょうか。

スポーツ庁としては、このようなオリンピック非実施競技を世の方々を知っていただくことが、私たちの目指す国民のスポーツ実施率の向上や、一億総スポーツ社会の実現につながるのではないかと考えております。

また、今大会に参加された総勢18競技98名の選手の皆様におかれましては、それぞれが世界のトップを目指して熱く取り組まれており、「オリンピック競技でもどんな競技でも

変わらない」ということを改めて感じました。

今後とも様々な方が、それぞれのスポーツにますます邁進していただき、日本として幅広くスポーツ振興を図って参りたいと思っております。



大会マスコットキャラクターと



激励に訪れたアーチェリー会場にて



全選手(7名)がメダルを獲得した空手チームを祝福

ワールドゲームズ2017 記者発表&日本代表選手壮行会

2017年7月5日(水)、日本ワールドゲームズ協会主催による「WORLD GAMES 2017 記者発表・日本代表選手壮行会」を日本スポーツマンクラブ(渋谷区:岸記念体育会館)で開催し、代表選手をはじめ、JWGA加盟団体、報道関係者、来賓など、200名を超える方々に出席いただきました。記者発表では、師岡執行理事からワールドゲームズの概要説明を行い、報道関係者をはじめ多くの方々に興味深く耳を傾けていました。壮行会では、鈴木大地スポーツ庁長官、竹田恒和日本オリンピック委員会会長、泉正文日本体育協会副会長から激励の挨拶があり、イズドルチク・ヤツェク駐日ポーランド大使からは歓迎と応援のメッセージをいただきました。また、2度目のワールドゲームズ出場となる空手の染谷香予選手が選手代表の挨拶を務め、大会での活躍を誓いました。



4年に一度の最高峰の舞台に挑む日本代表選手の皆さん



竹田恒和
日本オリンピック委員会会長



泉正文
日本体育協会副会長



イズドルチク・ヤツェク
駐日ポーランド大使

大会の舞台裏 選手たちを支えたスタッフの声

選手のコンディションづくりをサポート

スポーツカイロプラクター 伊佐和敏

選手が最高のパフォーマンスを発揮できるよう、コンディションづくりをサポートする「公式カイロプラクター」としてワールドゲームズに同行したのは、前回のカリ大会に続き2度目。4年で自分がどれだけ成長したかを試せる絶好の機会を得ることができ、参加が決定したときから楽しみにしていました。

大会期間中は、各競技会場に世界各国から選抜された総勢35名のカイロプラクターが配置されました。会場での私の役割は、救急救命士たちと協力しながら、選手や関係者にとって最善の施術方法

を提供することでした。開会式前の練習から閉会式直前の競技まで、時には1日2種目の選手をかけもちしながら、全日程でのべ1,600人以上の施術を行いました。

短時間の施術で選手が最高のパフォーマンスができるようにとプレッシャーを感じていた一方で、カイロプラクティックを受けたことがない選手が効果を実感してくれ、チームメイトをたくさん連れて来てくれたときはとてもうれしかったです。

今回の私たちの仕事ぶりはIWGAからも高い評価を頂きました。次回大会までの課題として、カイロプラクティックを日本選手団に積極的に取り入れてもらえるよう、取り組んでいきたいです。



スポーツライミングの野中選手(写真左)と伊佐さん(写真右)

Profile

いさ・かずとし 日本スポーツカイロプラクティック連盟所属のスポーツカイロプラクター。高校卒業後、アメリカへ留学し、アスレチックトレーナーのもとで基礎的な経験を積む。その後、スポーツカイロの資格を取得し、2009年にイサ スポーツ カイロプラクティックを開業。2016年のリオパラリンピックでは、公式メディカルスタッフとして選手のケアに尽力した。国際スポーツカイロプラクティック連盟(FICS)理事。

メイクアップで選手の自信を引き出す

アスリートビューティーアドバイザー 花田真寿美

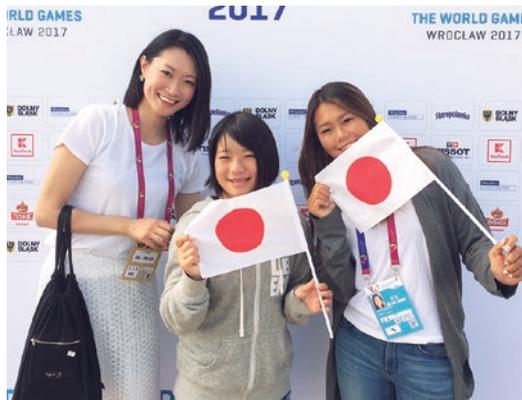
今回のヴロツワフ大会では「アスリートビューティーサポート」として、日本選手団の9競技の団体からお声がけをいただき、同行させていただきました。「アスリートビューティーサポート」とは、男女問わず、選

手たちの試合時・表彰式時・メディア対応時に、メイク、ヘアセットなどのサポートをすることを言います。メイクアップが選手のココロのスイッチとなり、ハイパフォーマンスを引き出したり、インタビュー時に自信を持って堂々と受け答えができるようになることを目的としています。

大会中は、団体の方や選手と直接連絡を取り合い、それぞれの会場を回りました。試合前の会話や試合中の真剣な眼差し、勝った時のまぶしい笑顔、うれ

涙、そして悔しさからメイク中に流す涙——。一つひとつの瞬間に、私の心も動かされました。

メイクを担当した選手からは「自信が持てた。内面が強いときはパフォーマンスに現れる」などのうれしい言葉をいただきました。外見、内面ともに磨くことは、選手たちにとって一時的なものではなく、未来に対する自己肯定感にもつながると考えています。今後もさらにアスリートビューティーを広め、選手たちへのサポート体制を整えていきたいです。



花田さん(写真左)がメイクを担当した水上スキーウエイクボードの河原選手(写真中央)、棟安選手(写真右)

Profile

はなだ・ますみ 元バドミントンアスリート。お洒落とは無縁の高校時代を過ごし、モデルに転身。自身の経験をもとに、見た目だけの美しさにとらわれず、心から幸せになることを応援する活動を展開する。現在は、アスリートビューティーアドバイザーとして活躍する傍ら、内面から輝く美しさを伝えるイベントやセミナーを数多く開催している。

第10回ワールドゲームズ・ヴロツワフ大会の総括

特定非営利活動法人日本ワールドゲームズ協会

もろ おか ふみ お

国際担当執行理事 師岡 文男

国際ワールドゲームズ協会 (IWGA) 理事
国際スポーツ団体総連合 (GAISF/SportAccord) 元理事
世界フライングディスク連盟 (WFDF) 理事
一般社団法人日本フライングディスク協会会長、上智大学 教授



2017年7月20日～30日、10回目となる非オリンピック種目の国際総合競技大会「ワールドゲームズ」が、ポーランドのヴロツワフ(Wroclaw)市で開催された。オリンピック・パラリンピック開催立候補都市が、大会経費の高騰により激減し、2024年・2028年大会の開催地を同時に決定するというかつてない状況に陥っている中、ワールドゲームズは開催都市に施設がない競技は開催しなくて良いという当初からの特色が功を奏し、第2回のロンドン大会を除いては、すべて地方都市で開催されてきた。オリンピック憲章に謳われている「世界中のすべての人々が一切の差別なくスポーツが楽しめる社会の実現」のためには、低予算での開催が可能で、毎回種目の入れ替えが行われているワールドゲームズのあり方は極めて有効になってきている。今回も女子ラクロス、ムエタイ、フロアボールが新たに採用された。

今回のヴロツワフ大会で、ヨーロッパでの開催は6回目となるが、ワールドゲームズは(1)国際オリンピック委員会(IOC)「オリンピック・アジェンダ2020」提言6-1に「IOCとIWGAはスポーツプログラムの構成およびそれぞれの評価に関して緊密に協力する」と明記され、両者の連携の覚書が再締結されたこと、(2)2020年東京オリンピック追加5種目はすべてワールドゲームズ競技から採用されたこと、などにより一挙に関心が高まり、参加国数は過去最多の102カ国・地域となり、テレビ放送をした国も131カ国に増えている。さらに、IOCはデジタルプラットフォーム「オリンピックチャンネル」で大会の様態を発信し、飛躍的に多くの視聴者を獲得した。日本から観戦に訪れる人も増え、スポーツ庁からは鈴木大地長官とスタッフが大会を視察され、IWGA会長はじめ幹部役員と会談を行った。大会前に岸記念体育会館で開催した日本選手壮行会にも鈴木大地長官はご出席くださり、日本オリンピック委員会(JOC)竹田恆和会長、日本体育協会泉正文副会長と共に参加選手を激励してくださった。TBSテレビは今回もIWGAと放映権契約を結び、2005年の第7回大会から連続して大会の様態を報道した。また、ワールドゲームズを後援しているIOCのバッハ会長は、恒例の開会式での挨拶だけでなく、多くのスタッフとともに大会前から現地に入り、IWGAと大会組織委員会との昼食会に参加したり、参加競技団体役員との朝食会を主催するなど、今まで以上に非オリンピック種目団体ともより密接な関係を構築しようとする姿勢が見られた。今回の大会は、IOCがオリンピックムーブメントとして、ワールドゲームズがより重要な大会になってきていることを示した大会でもあった。

改めて今回のワールドゲームズが示した「第2のオリンピック」

としての意義を以下にまとめた。

- ① 夏季オリンピック競技大会を開催することが難しい都市でも、新しく施設を建設することさえなければオリンピックに準じる大会の開催は可能であることを実証した。
- ② 2020年東京オリンピックの追加5競技(空手、ローラースポーツ<スケートボード>、野球・ソフトボール、スポーツクライミング、サーフィン)は、全てIWGA加盟競技であり、今回実施された空手、スポーツクライミングは次回のオリンピック競技として関心を集めた。これで、IWGA加盟競技からオリンピック競技になった競技は、通算12競技となり、「オリンピック・アジェンダ2020」提言6-1が示すように、ワールドゲームズはオリンピックと連携する大会になってきている。
- ③ ワールドゲームズは、非オリンピック「種目」の大会であり、オリンピック「競技」の種目であってもオリンピックで採用されていない「種目」は、今回も下記のように実施された。
<アーチェリー>フィールドアーチェリー、<カヌー>カヌーボロ、<体操>エアロビクス、新体操種目別、スポーツアクロ体操、トランポリンシンクロナイズド、タンブリング、<ハンドボール>ビーチハンドボール、<ボート>インドアローイング
- ④ IOCがIWGAと締結した覚書に基づき、ワールドゲームズはIOCが連携し後援する大会であることがより明確になり、スポーツ振興基金から今大会に出場する日本人選手に補助金が支給された他、JOC、日本体育協会、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)などからの支援が得られた。
『オリンピック憲章』の根本原則には、「スポーツを行うことは人権の一つである。すべての個人はいかなる種類の差別もなく、オリンピック精神によりスポーツを行う機会を与えられなければならない」と“Sport for All”の推進を謳っている。それは、オリンピックムーブメントはIOCとIWGAの覚書に示されたように、単にオリンピックに採用された競技だけの普及をすることだけではないことを物語っている。

今後もワールドゲームズは、非五輪種目の大会としてオリンピックを開催できない地方都市で開催され続けることにより、オリンピック競技大会と車の両輪としてオリンピックムーブメントを推進していくことが期待されている。

成熟社会の中で迎える2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催準備が、オリンピックムーブメントの正しい理解、普及につながり、オリンピックと兄弟関係で共に“Sport for All”を目指すワールドゲームズの価値や役割の認識が広まっていくことを期待したい。

協会概要 (2017年7月31日現在)

役員

任期：2016年7月1日～2018年6月30日

会 長	小野 清子	Kiyoko ONO	公益財団法人笹川スポーツ財団 前理事長
副会長	玉利 齊	Hitoshi TAMARI	公益社団法人日本ボディビル・フィットネス連盟 会長
執行理事 (国際担当)	師岡 文男	Fumio MOROOKA	一般社団法人日本フライングディスク協会 会長 [国際ワールドゲームズ協会 理事]
執行理事 (総務担当)	渡邊 一利	Kazutoshi WATANABE	公益財団法人笹川スポーツ財団 理事長
執行理事	赤木 恭平 吉澤 俊治	Kyohei AKAGI Shunji YOSHIZAWA	公益財団法人日本オリンピック委員会 名誉委員 一般社団法人日本水中スポーツ連盟 専務理事
理 事	川原 貴 清宮 邦雄 栗原 茂夫 小林 伸輔 滝川 哲也 西尾 学 村岡 久平 吉田 進	Takashi KAWAHARA Kunio KIYOMIYA Shigeo KURIHARA Shinsuke KOBAYASHI Tetsuya TAKIGAWA Manabu NISHIO Kyuhei MURAOKA Susumu YOSHIDA	独立行政法人日本スポーツ振興センター 前国立スポーツ科学センター長 特定非営利活動法人日本ローラースポーツ連盟 専務理事 公益財団法人全日本空手道連盟 副会長 一般社団法人共同通信社 編集局 運動部長 株式会社時事通信社 編集局 編集委員 東京五輪パラリンピック対策室兼務 公益社団法人日本ビリヤード協会 専務理事 公益社団法人日本武術太極拳連盟 会長 特定非営利活動法人日本バラ・パワーリフティング連盟 理事長
監 事	宮城島 真知子 宮本 英尚	Machiko MIYAGISHIMA Hidenao MIYAMOTO	公益社団法人日本スカッシュ協会 運営委員 公益社団法人日本パワーリフティング協会 会長

会員 (団体)

45団体

■ 正会員 (25団体)

公益財団法人合気会	公益社団法人全日本アーチェリー連盟	公益財団法人全日本空手道連盟
日本キャスティング協会	一般社団法人日本サーフィン連盟	公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
一般社団法人全日本柔術連盟	特定非営利活動法人日本水上スキー・ウエイクボード連盟	一般社団法人日本水中スポーツ連盟
公益社団法人日本スカッシュ協会	公益財団法人日本相撲連盟	公益財団法人日本ソフトボール協会
公益社団法人日本ダンススポーツ連盟	公益社団法人日本綱引連盟	公益社団法人日本パワーリフティング協会
公益財団法人日本ハンドボール協会	公益社団法人日本ビリヤード協会	一般社団法人日本フライングディスク協会
一般社団法人日本フロアボール連盟	公益社団法人日本ベタンク・ブル連盟	公益財団法人全日本ボウリング協会
公益社団法人日本ボディビル・フィットネス連盟	特定非営利活動法人日本ライフセービング協会	特定非営利活動法人日本ローラースポーツ連盟
公益財団法人笹川スポーツ財団		

■ 準会員 (14団体)

日本アームレスリング連盟	公益社団法人日本エアロビック連盟	日本オーケーゴルフ協会
一般社団法人全日本空道連盟	公益財団法人日本ゲートボール連合	一般社団法人日本健康麻将協会
一般財団法人少林寺拳法連盟	国際スポーツチャンバラ協会	公益財団法人日本ソフトテニス連盟
公益社団法人日本ダーツ協会	一般社団法人日本ドラゴンボート協会	公益社団法人日本武術太極拳連盟
日本マウンテンバイク協会	一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会	

■ 支援会員 (6団体)

東京スカイダイビングクラブ	一般社団法人日本スポーツカイトプラクティク連盟	公益社団法人全日本フルコンタクト空手道連盟
一般社団法人日本ベタンク連盟	日本落下傘スポーツ連盟	公益財団法人日本レクリエーション協会



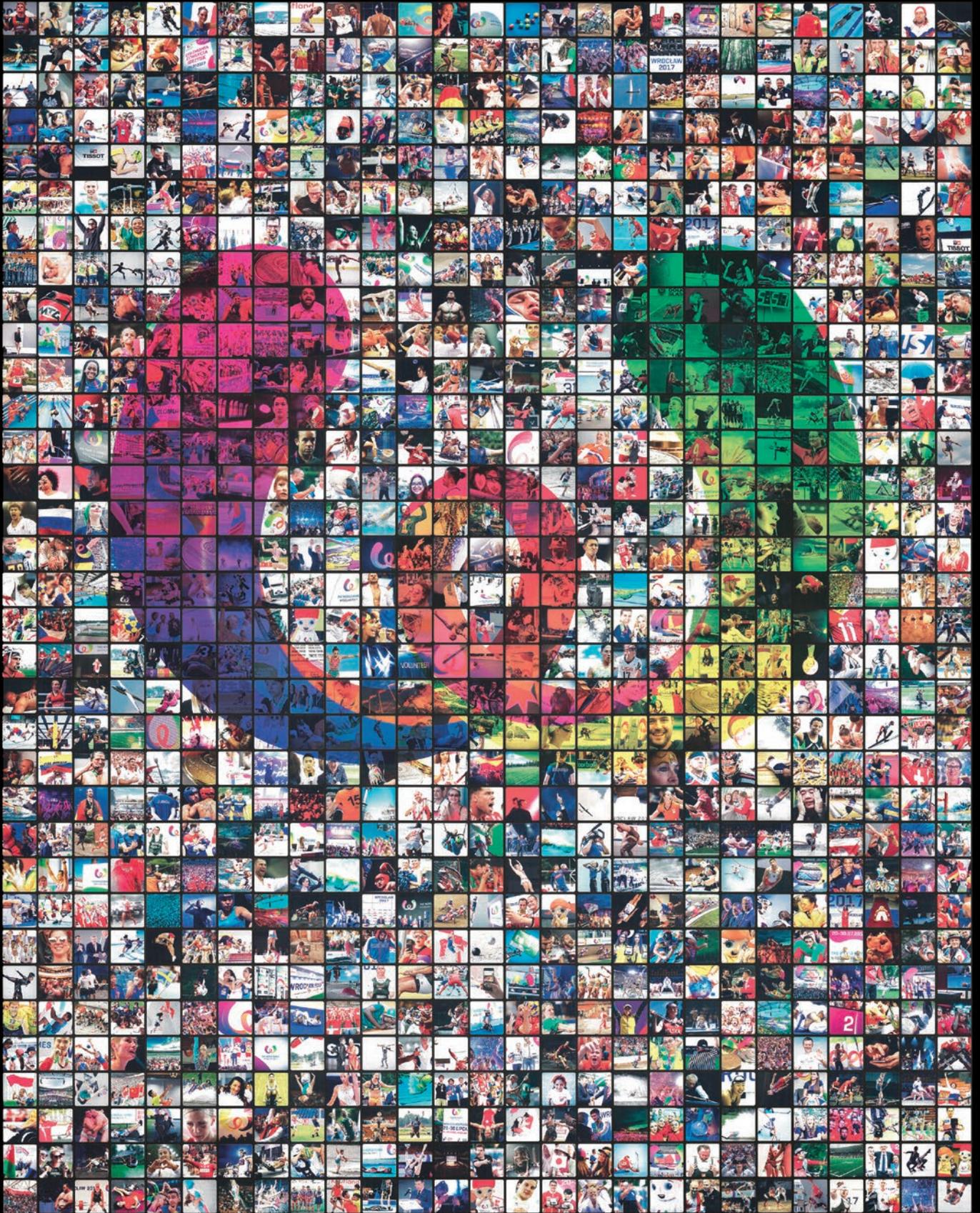
特定非営利活動法人 日本ワールドゲームズ協会

〒107-6011 東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル11F 笹川スポーツ財団内
TEL: 03-5545-3301 FAX: 03-5545-3305 Email: info@jwga.jp

<http://www.jwga.jp/>

2017.11

本報告書は、スポーツ振興くじ助成金を受けて製作しました。



THE WORLD GAMES WROCLAW 2017

20 – 30 July 2017
www.theworldgames.org

 INTERNATIONAL
WORLD GAMES
ASSOCIATION
Uniqueness by Diversity



特定非営利活動法人 日本ワールドゲームズ協会

<http://www.jwga.jp>